

富士見市市制施行50周年記念事業
事業報告書



富士見市★市制施行50周年

令和5年12月

富士見市

目次

市制施行 50 周年記念事業について.....	2
○はじめに	2
○実施方針.....	2
○事業体系.....	2
○市制施行50周年記念事業推進イメージ図.....	3
記念事業一覧	4
事業報告	7
(1) 市制施行50周年記念事業	7
(2) 市制施行50周年記念に係るその他の取組	120
事業検討体制	124

市制施行 50 周年記念事業について

○はじめに

富士見市は、令和4年4月10日に市制施行 50 周年を迎えました。

この50周年の節目にあたり、本市の歩みを振り返るとともに、この記念すべき年を市民の皆様と祝い、理想の“未来”である「充実した日々」に向けた大切な機会とするため、「誰もが住みたい・住み続けたい・選ばれるまち富士見市」を目指し、合計55の記念事業を実施しました。

この報告書は、実施された記念事業の概要を記録するとともに、今後の記念事業の基礎資料とするために作成するものです。

○実施方針

富士見市の魅力を再発見し、富士見市を愛し、大切に思う心を育ぶ事業

富士見市の魅力を内外に発信し、認知度の向上に資する事業

富士見市を活性化させ、未来に向けた賑わいづくりにつながる事業

○事業体系

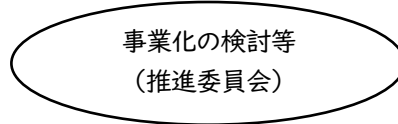
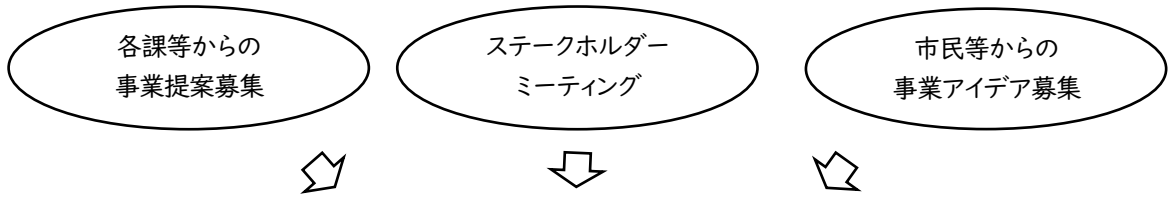
特別事業：この年のみ、または、これを契機に今後続けていきたい事業

冠事業：既存事業に、50周年記念を冠して実施する事業

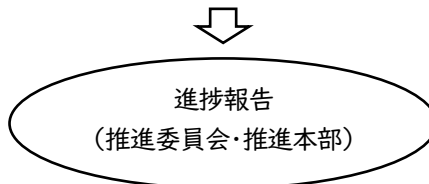
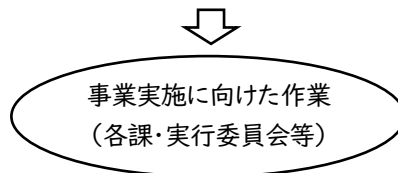
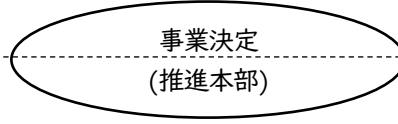
計55事業【内訳】 特別事業32事業、冠事業23事業

〇市制施行50周年記念事業推進イメージ図

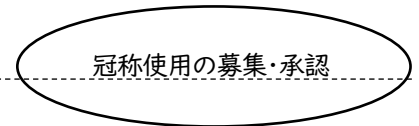
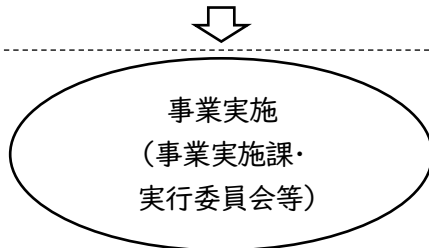
令和2年度



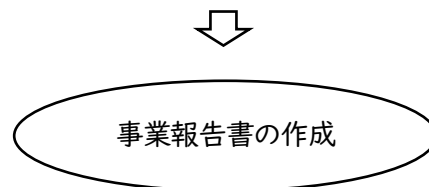
令和3年度



令和4年度



令和5年度



記念事業一覧

NO	事業名	事業体系	ページ
1	「令和4年表彰」事業	特別事業	10
2	「市制施行50周年カウントダウン」事業	特別事業	12
3	「職員証名札用PR作製」事業	特別事業	14
4	「50周年ロゴマーク封筒作製」事業	冠事業	16
5	「公用車用50周年ロゴマークマグネットシート作製」事業	特別事業	18
6	「市制施行50周年記念式典」事業	特別事業	20
7	「富士見市 PR 冊子作製」事業	特別事業	22
8	「市制施行50周年記念ロゴマーク作成」事業	特別事業	24
9	「市制施行50周年記念PRサイン等作製」事業	特別事業	26
10	「ふわっぴー10周年記念郵便ポスト設置」事業	特別事業	28
11	「市制施行50周年記念映像及びPR映像作成」事業	特別事業	30
12	「市内3駅発車メロディー放送」事業	特別事業	32
13	「ふわっぴー10周年記念お誕生日会イベント」事業	特別事業	34
14	「ふじみ☆ふわっぴー絵本作製」事業	特別事業	36
15	「謎解きデジタルスタンプラリー」事業	特別事業	38
16	「市制施行50周年記念 埼玉新聞特集記事掲載」事業	特別事業	40
17	「FUJIMI☆クラフトビアフェスタ」事業	特別事業	42
18	「富士見ふるさと祭り」事業	冠事業	44

NO	事業名	事業体系	ページ
19	「舞台芸術鑑賞」事業	冠事業	46
20	「心から楽しむ、笑う吉本新喜劇」事業	特別事業	48
21	「NHK全国放送公開番組招致」事業	特別事業	50
22	「FUJIMI音楽祭」事業	特別事業	52
23	「富士見ファンファーレ」事業	特別事業	54
24	「市民文化祭」事業	冠事業	56
25	「ふじみヘルシーウォーク大会」事業	冠事業	58
26	「バトテニス大会」事業	冠事業	60
27	「日登美杯レスリング大会」事業	冠事業	62
28	「ラケットテニス大会」事業	冠事業	64
29	「スポーツチャレンジ2022」事業	冠事業	66
30	「市制施行50周年記念式典シャバツ市長招待」事業	特別事業	68
31	「開館20周年記念 勝瀬 de 縁日」事業	冠事業	70
32	「オリジナルマイナンバーカードケース作製」事業	特別事業	72
33	「あいサポートフェスティバル」事業	冠事業	74
34	「富士見市で結婚50年を迎えた金婚ご夫婦お祝い式」事業	特別事業	76
35	「健康歯っぴ〜ライフ☆シンポジウム」事業	冠事業	78
36	「富士見市の美しい自然環境写真コンテスト」事業	特別事業	80
37	「東大久保菜の花フェスタ」事業	冠事業	82

NO	事業名	実施課名	ページ
38	「花火大会」事業	特別事業	84
39	「びん沼自然公園リニューアル記念パークゴルフ大会」事業	特別事業	86
40	「びん沼自然公園開園式」事業	特別事業	88
41	「市の木 けやき植樹」事業	特別事業	90
42	「鶴瀬西配水場見学」事業	特別事業	92
43	「図書館まつり」事業	冠事業	94
44	「子ども大学☆ふじみ第10期記念」事業	冠事業	96
45	「私たちの未来、50年後の富士見市 作品展」事業	特別事業	98
46	「うたごえフェスタ」事業	冠事業	100
47	「青少年の主張大会～50年後の未来を語ろう!～」事業	冠事業	102
48	「学校吹奏楽祭」事業	冠事業	104
49	「子どもフェスティバル」事業	冠事業	106
50	「第20回なんばた青空市場」事業	冠事業	108
51	「第30回やなせ川いかだラリー」事業	冠事業	110
52	「ビジュアル版 富士見のあゆみ発行」事業	特別事業	112
53	「水子貝塚星空シアター」事業	冠事業	114
54	「難波田城公園まつり」事業	冠事業	116
55	「武者行列」事業	特別事業	118

事業報告

(1) 市制施行50周年記念事業

○報告書について

【様式】

市制施行50周年記念事業 実施報告書

実施事業課【 】

事業名 ①					
目的 ②					
実施体制 ③ (担当課・市民参画状況等)					
事業費 ④	令和3年度	予算額	総額:		
		執行額	総額: 主な費用:		
	令和4年度	予算額	総額:		
		執行額	総額: 主な費用:		
実施内容 ⑤ (実績)		1 日時・場所 2 対象者・参加人数等 3 周知方法 4 具体的な内容 5 成果・効果			
事業評価 ⑥		評価項目	評価の視点	評価 (3段階)	評価理由
		目的達成度	当初の予定どおり事業の目的を達成できたか		
		費用対効果	事業費に見合う成果・効果は得られたか		
課題 ⑦					

【各項目の記載内容】

項目		記載内容
①	事業名	記念事業の事業名を記載しています。
②	目的	記念事業の目的を記載しています。
③	実施体制	事業実施課や実行委員会等の実施体制のほか、市民参画の状況を記載しています。
④	事業費	記念事業の実施に係る事業費を千円単位で記載しています。 ※予算額については、各年度の当初予算額を記載しています。予算流用などにより執行額が予算額を上回る記載となっている場合があります。 ※執行額については、百円単位四捨五入しています。
⑤	実施内容	記念事業の開催日、開催場所、事業の具体的な内容、成果、効果等について記載しています。
⑥	事業評価	記念事業に対する事業実施課の自己評価を3段階で記載しています。項目別の評価基準については、次のとおりです。 【目的達成度】 3:大いに達成できた 2:概ね達成できた 1:達成できなかった 【費用対効果】 3:予定を上回る成果・効果が得られた 2:概ね予定どおりの成果・効果が得られた 1:事業費に見合う成果・効果が得られなかった
⑦	課題	事業実施に係る課題を記載しています。

市制施行50周年記念事業 実施報告書

事業実施課【秘書広報課】

事業名		「令和4年表彰」事業			
目的		毎年、市政に功労顕著なもの及び社会文化の興隆に寄与し、公益上功労又は善行があったものを表彰していることに加え、富士見市市制施行50周年という節目を迎えることを記念し、「50周年特別基準」を設け、特別表彰を実施することにより、本市の自治振興を更に促進するとともに、表彰式において受賞者の功績を称えることを目的に実施する。			
実施体制 (担当課・市民参画等)		秘書広報課			
事業費	令和3年度	予算額	総額:33千円		
		執行額	総額:29千円 主な費用:表彰候補者の刑罰照会、表彰者への招待状等の発送		
	令和4年度	予算額	総額:685千円		
		執行額	総額:537千円 主な費用:功労・善行・篤志等表彰記念品		
実施内容 (実績)		<p>1 日時・場所 令和4年4月10日(日)午後2時から午後5時、市民文化会館キラリ☆ふじみで開催された「富士見市市制施行50周年記念式典」内で実施。</p> <p>2 対象者 (1) 功労表彰 111名、2団体 (2) 善行表彰 4名 (3) 篤志表彰 4名、10団体 (4) 感謝状贈呈 1団体</p> <p>3 周知方法 表彰者については個別に招待状を送付を行った。 ※「富士見市市制施行50周年記念式典」内で実施したため、周知については同式典に準ずる。</p> <p>4 具体的な内容 各表彰区分の代表者に登壇してもらい、表彰状又は感謝状の贈呈を行った。</p> <p>5 成果・効果 富士見市表彰条例及び富士見市表彰条例施行規則に基づき、市政に功労顕著なもの及び社会文化の興隆に寄与し、公益上功労又は善行があったものを表彰し、本市の自治振興を促進するとともに、表彰式において受賞者の功績を称えることができた。</p>			
事業評価		評価項目	評価の視点	評価 (3段階)	評価理由
		目的達成度	当初の予定どおり事業の目的を達成できたか	2	新型コロナウイルス感染症の影響により、表彰者全員が登壇しての表彰状又は感謝状の贈呈はできなかったものの、各表彰区分の代表者に登壇していただき、記念式典内において表彰式を執り行うことができた。
		費用対効果	事業費に見合う成果・効果は得られたか	2	市政に対して功労顕著なもの及び社会文化の興隆に寄与し、公益上功労又は善行があったものを表彰することで、本市の自治振興を促進するとともに、受賞者の功績を称えることができた。
課題					

【表彰式の様子】

■ 表彰状・感謝状贈呈、受表彰者謝辞

富士見市政の発展に尽力された方々に、表彰状および感謝状を贈呈しました（119名、13団体の計132件）。

- ・ 功勞表彰者（111名、2団体）
- ・ 善行表彰者（4名）
- ・ 篤志表彰者（4名、10団体）
- ・ 感謝状の贈呈（1団体）



功勞表彰受表彰者 アーティスティックスイミング選手
中谷奏空 様



善行表彰受表彰者 消防団員 内田武志 様

【表彰者集合写真】



市制施行50周年記念事業 実施報告書

事業実施課【秘書広報課】

事業名		「市制施行50周年カウントダウン」事業			
目的		1月1日から4月10日までの100日間、市民及び市内団体などのカウントダウンフォトを市ホームページのトップページへ毎日掲載し、市制施行50周年の認知度の向上や機運醸成を図る。			
実施体制 (担当課・市民参画等)		秘書広報課 市民等から掲載する写真を募集			
事業費	令和3年度	予算額	総額:0千円		
		執行額	総額:0千円 主な費用:		
	令和4年度	予算額	総額:0千円		
		執行額	総額:0千円 主な費用:		
実施内容 (実績)		<p>1 日時・場所 令和4年1月1日から4月10日の100日間 市ホームページのトップページのブランディングエリアに掲載</p> <p>2 対象者・参加人数等 掲載写真:市民や市内団体等の写真90枚、PR大使6枚、 市長、教育長、議長、市議会議員集合写真の計100枚</p> <p>3 周知方法 令和3年10月1日～11月30日の間、写真を募集 ・広報富士見令和3年10月号、市ホームページ、SNSで周知 ・市内公共施設及び駅前パンフレットスタンドにチラシを設置 ・町会長全体会で説明しチラシを配布 ・各種イベントや行事でチラシを配布及び写真撮影</p> <p>4 具体的な内容 ・応募された写真に一言メッセージを添えたカウントダウンフォトを作成し、市ホームページのトップページのブランディングエリアに日替わりで掲載。 ・トップページ掲載後は、アーカイブページに一覧を掲載。 ・応募写真は広報富士見令和4年4月号の表紙に組み写真としても使用した。</p> <p>5 成果・効果 ・市民や市内団体等から90枚の写真を集めることができ、機運醸成が図れた。 ・トップページ掲載後の一覧を掲載したアーカイブページは、令和4年1月1日から4月30日までで13,989件のアクセスがあった。</p>			
事業評価		評価項目	評価の視点	評価 (3段階)	評価理由
		目的達成度	当初の予定どおり事業の目的を達成できたか	3	市民や市内団体等の写真90枚をホームページに掲載し、さらには広報富士見の表紙に組み写真として使用することで、多くの方々から好意的な意見をいただき、市民と一緒に機運醸成が図れた。
		費用対効果	事業費に見合う成果・効果は得られたか	2	ゼロ予算で事業を実施し、当初の目的を十分に達成できた。
課題		<p>・コロナ禍でイベント等の実施が制限される中、市民等の写真を集めるのに苦労した。</p> <p>・ホームページへの掲載は、毎日更新作業を行う必要が生じ、更新漏れ等のチェック体制など、事務量が想定より多かった。</p>			

富士見市市制施行50周年記念

COUNTDOWN FUJIMI 100



写真募集

市制施行50周年をみんなで祝いましょう！写真を掲載して記念にしませんか。家族と！仲間と！もちろん1人でも！皆様のご応募お待ちしております。

【応募写真イメージ】



コメント：このまちで楽しい家族の思い出をたくさん作ってみたいです。(ニックネーム：M-family)



コメント：東京2020大会の感動を後世に引き継いでいけるレガシーを築きます!(ニックネーム：セルビアおもてなし部隊)

市制施行50周年を迎える令和4年4月10日(日)に向けて、1月1日(祝)から市ホームページのトップページで行うカウントダウンに使用する写真を募集します。

募集期限：**11月30日(火)まで**

※募集件数(80件)に達し次第終了

募集内容

市制50周年を祝うイメージに合うもので、人物がメイン(1人でも複数人でも可)の横長の写真

対象 市内在住、在勤、在学の方、富士見市にゆかりのある方(本市出身、市内の学校の卒業生など)、市内で活動する団体や企業 など

募集件数 80件

応募方法 次の①～⑥を記載し、写真データ(5MB以下)を添付してメールで応募してください。(送付先：☐kouhou@city.fujimi.saitama.jp)

■記載内容

①応募者の氏名 ②住所 ③電話番号 ④メールアドレス

⑤写真掲載時の名前(ニックネーム可)またはグループ名

⑥写真掲載時のコメント(市の魅力や思い出、抱負など50字以内)

※同一人物、同一メンバーの写真の応募は1点まで

個人情報の取り扱い、掲載についてなどの注意事項があります。詳しくは、市ホームページをご覧ください。



☎ 富士見市役所秘書広報課 広報グループ ☎049-256-9535

募集チラシ



掲載したフォト

カウントダウンフォト

市制施行**50**周年まで
あと **99** 日

【一言メッセージ】
富士見市市制施行50周年、誠におめでとうございます。これからも大好きな富士見市の発展を願っています。

富士見市PR大使 小原 日登美 さん

市制施行50周年記念事業 実施報告書

事業実施課【 職員課 】

事業名		「職員証名札用PR作製」事業			
目的		職員証ケース内に「市制施行50周年」を示したラベルを入れることにより、市制施行50周年の認知度向上・機運醸成に繋げる。			
実施体制 (担当課・市民参画等)		職員課(作製・配布)			
事業費	令和3年度	予算額	総額:0千円		
		執行額	総額:0千円 主な費用:		
	令和4年度	予算額	総額:0千円		
		執行額	総額:0千円 主な費用:		
実施内容 (実績)		<p>1 日時・場所 使用期間 令和4年3月～令和5年3月31日</p> <p>2 対象者・参加人数等 全職員(再任用職員・会計年度任用職員を含む) 約1,200人</p> <p>3 周知方法 令和4年2月24日付で全職員宛にラベルの使用依頼通知を発出し、3月から使用してもらった。</p> <p>4 具体的な内容 職員証ケース内に、ロゴマーク及び「富士見市★市制施行50周年」と示したラベルを挿入。</p> <p>5 成果・効果 全職員が使用することから、市民をはじめ様々な関係者の方の目に入ることで、市のPRに寄与できたものとする。</p>			
事業評価		評価項目	評価の視点	評価 (3段階)	評価理由
		目的達成度	当初の予定どおり事業の目的を達成できたか	2	概ね全職員が使用し、市制施行50周年のPRに寄与できたと考えられるため。
		費用対効果	事業費に見合う成果・効果は得られたか	2	ゼロ予算の中、予定どおり実施できたため。
課題		職員証ケースに種類があるため、職員個人に最終的なサイズ調整をお願いしたが、サイズをあわせず使用している職員を一定数見かけたこと。			



富士見市

ふじみ

富士見 太郎



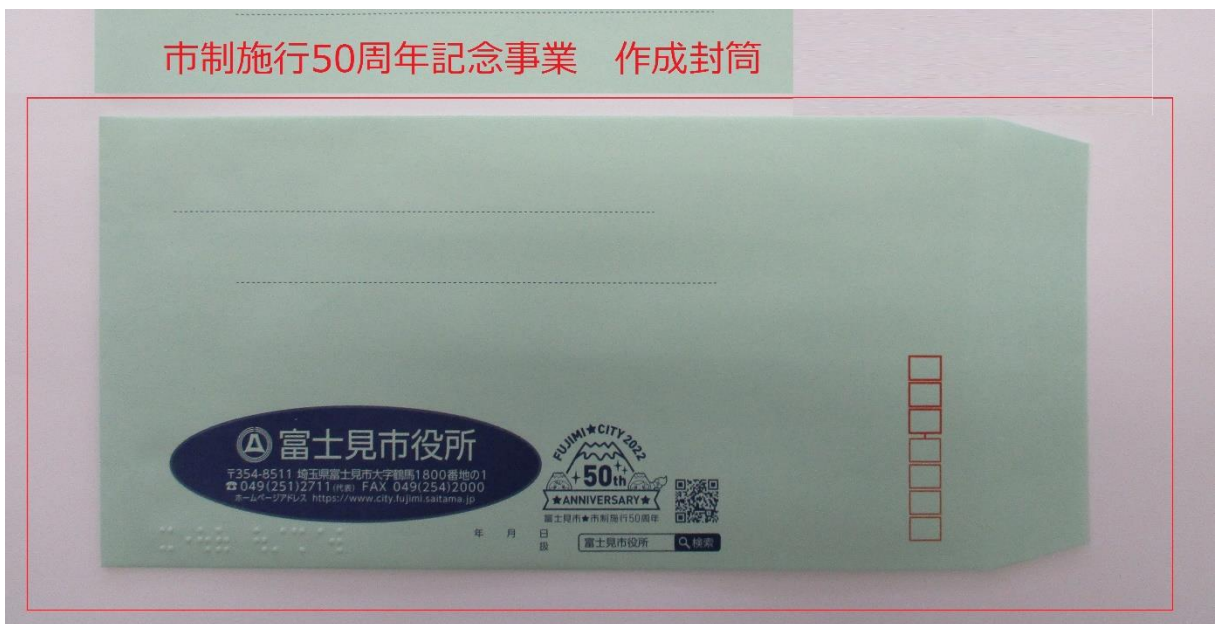
富士見市★市制施行50周年

市制施行50周年記念事業 実施報告書

事業実施課【公共施設マネジメント課】

事業名		「50周年ロゴマーク封筒作製」事業			
目的		市制施行50周年の認知度向上、機運醸成			
実施体制 (担当課・市民参画等)		公共施設マネジメント課(封筒作成・配布)、庁内31課 出先14施設に配布			
事業費	令和3年度	予算額	総額:1,232千円		
		執行額	総額:982千円 主な費用:印刷製本費		
	令和4年度	予算額	総額:0千円		
		執行額	総額:0千円 主な費用:		
実施内容 (実績)		<p>1 日時・場所 配布期間:令和4年2月24日～令和4年3月4日</p> <p>2 対象者・参加人数等 使用期間:令和4年4月1日～令和5年3月31日 配布先:庁内31課 出先14施設 作成枚数:長3封筒92,000枚 角2封筒24,000枚</p> <p>3 周知方法 封筒の表面に50周年記念ロゴマークを印刷した記念封筒作製</p> <p>4 具体的な内容 配布先の各課において、令和4年4月10日に市制50周年を迎えることについて、更なる周知を図るため、書類等の送付時に専用封筒を使用しPRを行った。</p> <p>5 成果・効果 各種媒体(広報紙、ホームページ、SNS、車両マグネットなど)と、積極的な情報発信による一連の実施を行い、市制施行50周年を祝う機運を高めることができた。</p>			
事業評価		評価項目	評価の視点	評価 (3段階)	評価理由
		目的達成度	当初の予定どおり事業の目的を達成できたか	2	利用希望の課へ全て配布できているため
		費用対効果	事業費に見合う成果・効果は得られたか	3	通常の封筒作成と同等の費用で作成でき、配布枚数も多く、多数の課で利用されたため
課題					

市制施行50周年記念事業 作成封筒



市制施行50周年記念事業 実施報告書

事業実施課【公共施設マネジメント課】

事業名		「公用車用50周年ロゴマークマグネットシート作製」事業			
目的		市制施行50周年の認知度向上、機運醸成			
実施体制 (担当課・市民参画等)		公共施設マネジメント課(車両用マグネット作成・配布)、庁内7課・出先15施設の公用車63台に貼付			
事業費	令和3年度	予算額	総額:609千円		
		執行額	総額:321千円 主な費用:マグネット作成委託		
	令和4年度	予算額	総額:0千円		
		執行額	総額:0千円 主な費用:		
実施内容 (実績)		<p>1 日時・場所 配布日:令和4年1月17日</p> <p>2 対象者・参加人数等 運用期間:令和4年1月17日～令和5年3月31日 対象車両:集中管理車及び一般公用車63台 (庁内7課 36台 出先15施設 27台) 作成枚数:139枚</p> <p>3 周知方法 集中管理車及び一般公用車の側面に添付(600mm×600mm)</p> <p>4 具体的な内容 令和4年4月10日に市制50周年を迎えることについて、更なる周知を図るため、集中管理車及び一般公用車に夜間でも認識しやすいPR用の高反射マグネットシートを貼りPRを行った。</p> <p>5 成果・効果 各種媒体(広報紙、ホームページ、SNS、封筒 など)と、積極的な情報発信による一連の実施を行い、市全体の50周年を祝う機運を高めることができた。</p>			
事業評価		評価項目	評価の視点	評価 (3段階)	評価理由
		目的達成度	当初の予定どおり事業の目的を達成できたか	2	期間満了まで周知を行うことができたため
		費用対効果	事業費に見合う成果・効果は得られたか	3	令和4年1月17日から令和5年3月31日までの期間で集中管理車27台は10,000回以上稼働し、市内外でのPRに貢献したため。
課題					



市制施行50周年記念事業 実施報告書

事業実施課【総務課】

事業名		「市制施行50周年記念式典」事業			
目的		市制施行50周年を記念して、これまでの本市の発展に貢献していただいた方々に感謝を表すとともに、その方々の大切な想いを未来につなげ、本市が更に飛躍していくための契機とすること			
実施体制 (担当課・市民参画等)		全体調整(総務課)、表彰式関係(秘書広報課)、アトラクション【勝瀬中・市民吹奏楽団】(シティプロモーション課)、結婚50周年インタビュー(健康増進センター)、ゼロカーボンシティ宣言(環境課)、セルビア共和国関係(文化・スポーツ振興課)			
事業費	令和3年度	予算額	総額:1,797千円		
		執行額	総額:722千円 主な費用:消耗品費、印刷製本費		
	令和4年度	予算額	総額:4,840千円		
		執行額	総額:3,362千円 主な費用:式典出席者記念品代、委託料		
実施内容 (実績)		<p>1 日時・場所 令和4年4月10日(日)午後2時から午後5時まで 市民文化会館キラリ☆ふじみ</p> <p>2 対象者・参加人数等 (1) 来賓 セルビア共和国大使、県知事、国会議員、県議会議員、近隣市町首長・議長等 (2) 招待者 市議会議員、行政委員会委員、審議会会長・副会長、市内各種団体代表等 (3) 表彰者 功労・善行・篤志、感謝状 招待者581人 参加者404人</p> <p>3 周知方法 招待者については個別に招待状を送付するとともに、市民に対しては「広報富士見」及び市ホームページで周知を行った。</p> <p>4 具体的な内容 富士見ファンファーレ演奏(市民吹奏楽団)、50周年記念映像の上映、市長式辞・議長挨拶、来賓祝辞、表彰式(表彰状・感謝状贈呈)、50周年記念事業紹介、結婚50周年インタビュー、ゼロカーボンシティ宣言、吹奏楽演奏(市民吹奏楽団、勝瀬中学校吹奏楽部)</p> <p>5 成果・効果 当初の計画では、キラリ☆ふじみのメインホールの定員一杯の800人規模で開催することを想定していたが、新型コロナウイルス感染症の感染者数の状況などを踏まえ、残念ながら定員の半分の400人規模での開催とはなったものの、アレクサンドラ・コヴァチュ駐日セルビア共和国特命全権大使、埼玉県知事等の来賓の方々をはじめ、市議会議員、行政委員会の委員、市内各種団体の代表、表彰対象者など、大変多くの方々にご出席いただいた。式典においては、来賓の方々から市制施行50周年に対するご祝辞を頂戴するとともに、富士見ファンファーレの初披露や記念映像の放映、結婚50周年を迎えるご夫婦へのインタビュー、勝瀬中学校・市民吹奏楽団による演奏、また、脱炭素社会に向けて2050年までに二酸化炭素実質排出量ゼロに取り組む「ゼロカーボンシティ宣言」を行うなど、市制施行50周年の年の幕開けを飾るのに相応しい式典になった。</p>			
事業評価		評価項目	評価の視点	評価 (3段階)	評価理由
		目的達成度	当初の予定どおり事業の目的を達成できたか	2	新型コロナウイルス感染症の影響により規模の縮小を余儀なくされたものの、対策を講じることにより、その時点における最大限の人数を招待した。内容としても当初の計画どおりのものとすることができ、50周年の記念の年のスタートを切るのに相応しい式典とすることができた
課題		費用対効果	事業費に見合う成果・効果は得られたか	2	新型コロナウイルス感染症の影響により規模の縮小を余儀なくされたものの、多くの方々にご出席いただくことができた。なお、予算の執行に当たっては、その縮減に努めたため

富士見ファンファーレの初披露



ゼロカーボンシティ宣言



星野市長の手話を用いた式辞



市民吹奏楽団による演奏



市制施行50周年記念事業 実施報告書

事業実施課【シティプロモーション課】

事業名		「富士見市PR冊子作製」事業		
目的		富士見市ならではの魅力を効果的に印象付け、対外的な認知度を高め、将来的な移住・定住の促進や交流人口の増加につなげていききっかけづくりにするとともに、市の魅力を再発見いただき、市民の「愛着・誇り」を育む。		
実施体制 (担当課・市民参画等)		シティプロモーション課		
事業費	令和3年度	予算額	総額:0千円	
		執行額	総額:0千円 主な費用:	
	令和4年度	予算額	総額:4,911千円	
		執行額	総額:4,918千円 主な費用:	
実施内容 (実績)		<p>1 日時・場所 発行日/令和4年11月1日(火)</p> <p>2 対象者・参加人数等 対象/近隣市町を含む首都圏30km圏内に住み、観光分野の情報に興味関心が高く、またSNS等を利用した情報発信・収集に積極的だと考えられる20~40代女性</p> <p>3 周知方法 ・令和4年11月1日(火)から随時配架 配架場所/池袋駅、市内3駅(鶴瀬、みずほ台、ふじみ野)、公共施設他</p> <p>4 具体的な内容 PR冊子名称/ちなみに富士見! 発行部数/7,500部 ページ数/24ページ(表紙含む)</p> <p>5 成果・効果 ・市内公共施設他、民間と協働で進めていくことにより、新たな場所(池袋ルミネ500部や池袋パルコ300部など)へ配架することで、ターゲット層である20~40代女性に向けた効果的なアプローチとなった。 ・富士見市内の協力店舗や市内3駅に配架し、多くの人に改めて市内の魅力を知ってもらうきっかけとなった。駅については、週に60部(20部×3駅)程度がコンスタントに消化され、市役所の市民ホールにおいても多くの手に取ってもらうことができた。 ・Instagramによる周知を実施することにより、より多くの目に触れることができた。協力いただいたインスタグラマーの発信効果としては、最も多くて6,000リーチ(周知の投稿を目にした人の数)あった。</p>		
事業評価	評価項目	評価の視点	評価 (3段階)	評価理由
	目的達成度	当初の予定どおり事業の目的を達成できたか	3	7,500部作製し、すべて配布できたことから、多くの市内外の方に魅力を発信することができたため。
	費用対効果	事業費に見合う成果・効果は得られたか	3	多くの方に取材協力いただき、市の魅力を効果的に発信し、好評いただくことができたため。
課題				

「富士見市 PR 冊子作製」事業

富士見市 PR 大使 飯田里穂さん 表紙

富士見市 PR 大使 倉本康子さん 表紙



中面①



中面②



市制施行50周年記念事業 実施報告書

事業実施課【シティプロモーション課】

事業名		「市制施行50周年記念ロゴマーク作成」事業		
目的		市制施行50周年を彩るシンボルとなるロゴマークを作成し、記念事業のPRなどで活用するほか、市民や事業者などにも活用してもらい、市全体で市制施行50周年を祝う機運醸成を図る。		
実施体制 (担当課・市民参画等)		シティプロモーション課		
事業費	令和3年度	予算額	総額:60千円	
		執行額	総額:70千円 主な費用:ロゴデザイン作成謝礼	
	令和4年度	予算額	総額:0千円	
		執行額	総額:0千円 主な費用:	
実施内容 (実績)		<ol style="list-style-type: none"> 1 日時・場所 庁内での利用受付開始:令和3年10月13日～ 市民等への利用申請受付開始:令和3年12月1日～ 2 対象者・参加人数等 使用申請件数 136件(庁内94件、市民等42件) 3 周知方法 市広報誌・ホームページへの掲載、市内公共施設へのポスターの掲示 4 具体的な内容 カラー、モノクロ、黒線画、レタリング(文字)の4種類を作成 (各種データ形式:png、jpg、ai) 5 成果・効果 ・市民課の窓口で配布しているマイナンバーカード用ケースをはじめ、チラシやポスターなどで多く使用いただき、市制施行50周年の機運醸成に寄与することができた。 ・市内で掲出した横断幕などのPRサイン各種に当該ロゴやレタリングを使用することで、市制施行50周年のシンボリックな役割を果たすことができた。 		
事業評価	評価項目	評価の視点	評価 (3段階)	評価理由
	目的達成度	当初の予定どおり事業の目的を達成できたか	3	庁内だけでなく、市内団体等でも幅広く活用していただき、多くの市民の方の目に触れることができた。
	費用対効果	事業費に見合う成果・効果は得られたか	3	136件の使用申請があり、多くの方が目にするようなものに印字していただいた。市民や市内団体の方からも42件の使用申請があり、中には商品のパッケージや名刺に印字いただき、幅広く活用いただけた。
課題				

「市制施行50周年記念ロゴマーク作成」事業

○ロゴマーク



○ロゴマーク(レタリングなし)



カラー

黒線画

モノクロ

○レタリング(横)

富士見市★市制施行50周年

富士見市★市制施行50周年

○レタリング(縦)

富士見市★市制施行50周年

富士見市★市制施行50周年

市制施行50周年記念事業 実施報告書

事業実施課【シティプロモーション課】

事業名		「市制施行50周年記念PRサイン等作製」事業			
目的		富士見市市制施行50周年を広く市民や市への来訪者などに周知することを目的に、横断幕やグラフィックステッカー等の作製及び掲出を行う。			
実施体制 (担当課・市民参画等)		シティプロモーション課			
事業費	令和3年度	予算額	総額:2,154千円		
		執行額	総額:1,672千円 主な費用:横断幕、グラフィックステッカー、半透明フィルムステッカーの作製及び掲出、並びに懸垂幕、柱巻幕、ミニのぼり、車両用マグネットシートの作製、PRポスターの印刷		
	令和4年度	予算額	総額:154千円		
		執行額	総額:231千円 主な費用:横断幕、懸垂幕、柱巻幕の処分		
実施内容 (実績)		<p>1 日時・場所</p> <ul style="list-style-type: none"> ・懸垂幕 掲出期間/令和4年1月～令和5年3月30日 設置場所/富士見市役所正面玄関付近 ・横断幕 掲出期間/令和4年1月21日～令和5年3月30日 設置場所/254バイパス陸橋、ふじみ野駅東西口駐輪場など 15箇所 ・柱巻幕 掲出期間/令和4年4月～令和5年3月30日 設置場所/鶴瀬駅西口 ・グラフィックステッカー 掲出期間/令和4年1月20日～令和5年3月31日 設置場所/市内小中学校、公共施設 36か所 ・富士見市市制施行50周年記念ミニのぼり 掲出期間/令和4年2月～令和5年3月31日 設置場所/市役所庁内、市内公共施設 78か所 ・富士見市市制施行50周年PRポスター 設置期間/令和4年1月～令和5年3月31日 設置場所/市内公共施設、郵便局、商業施設等 約460か所 <p>2 対象者・参加人数等 対象/市民及び市外からの訪問者</p> <p>3 周知方法 市内公共施設にステッカー等の設置や50周年ポスターの掲出をすることで、市制施行50周年を周知した。</p> <p>4 具体的な内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・懸垂幕 設置場所/富士見市役所正面玄関付近 作製数/1枚 ・横断幕 設置場所/254バイパス陸橋、ふじみ野駅東西口駐輪場など 15箇所 作製数/18枚 ・柱巻幕 設置場所/鶴瀬駅西口 作製数/2枚 ・グラフィックステッカー 設置場所/市内小中学校、公共施設 36か所 作製数/124枚 ・富士見市市制施行50周年記念ミニのぼり 設置場所/市役所庁内、市内公共施設 78か所 作製数/100個 ・富士見市市制施行50周年記念PRポスター 設置場所/市内公共施設、郵便局、商業施設等 約460か所 作成部数/2,732枚 <p>5 成果・効果 市内に横断幕等を設置したことで多くの人に富士見市市制施行50周年を周知できた。</p>			
事業評価		評価項目	評価の視点	評価 (3段階)	評価理由
		目的達成度	当初の予定どおり事業の目的を達成できたか	3	市内の公共施設を含む様々な場所に横断幕等を掲出したことにより、多くの人に周知ができたため。
		費用対効果	事業費に見合う成果・効果は得られたか	3	予算の範囲内で公共施設を含む市内の多くの場所に掲出をしたことで、富士見市市制施行50周年を認知していただけたため。
課題					

「市制施行50周年記念PRサイン等作製」事業

横断幕



懸垂幕



PRポスター



ミニのぼり



グラフィックステッカー



柱巻き幕



市制施行50周年記念事業 実施報告書

事業実施課【シティプロモーション課】

事業名		「ふわっぴー10周年記念郵便ポスト設置」事業			
目的		市制施行40周年を記念して誕生した、富士見市マスコットキャラクター「ふわっぴー」が、令和4年度に誕生10周年を迎えることを記念して郵便ポストを設置し、市制施行50周年記念及びふわっぴーのPRと愛着の醸成を図る。			
実施体制 (担当課・市民参画等)		シティプロモーション課			
事業費	令和3年度	予算額	総額: 60千円		
		執行額	総額: 60千円 主な費用: ポストデザイン料		
	令和4年度	予算額	総額: 1,289千円		
		執行額	総額: 1,288千円 主な費用: 立体造形物の作製・設置、市内7か所の郵便ポストのラッピング作業、ハガキ代		
実施内容 (実績)		<p>1 日時・場所 設置日／令和4年12月22日(木) 設置場所／富士見市役所前郵便ポスト、ふじみ野駅東西口郵便ポスト、鶴瀬駅東西口郵便ポスト、みずほ台駅東西口郵便ポスト</p> <p>2 対象者・参加人数等 対象者／郵便ポスト利用者 令和4年12月23日(金)市役所前にて実施した投函式の参加者 ・富士見市長 ・三芳郵便局長 ・西坂戸三郵便局長 ・富士見南畑郵便局長 ・日本郵便のマスコットキャラクター ぽすくま ・富士見市マスコットキャラクター ふわっぴー ・第5保育所5歳児14名参加</p> <p>3 周知方法 広報、SNSにて周知</p> <p>4 具体的な内容 富士見市役所前郵便ポスト、市内3駅の東西口郵便ポストに富士見市マスコットキャラクター「ふわっぴー」のイラストのラッピングシートを設置。また、市役所前郵便ポストには立体造形物を設置。</p> <p>5 成果・効果 市役所前の郵便ポストにふわっぴーの立体造形物を設置したことで、多くの人に写真を撮っていただき、見物した人から「かわいい」「ほかのポストにもふわっぴーをのせてほしい」といった感想をいただいた。</p>			
事業評価		評価項目	評価の視点	評価 (3段階)	評価理由
		目的達成度	当初の予定どおり事業の目的を達成できたか	3	市内では初の試みではあったが多くの方に「かわいい」などの好評を博し、愛着の醸成につながったため。
		費用対効果	事業費に見合う成果・効果は得られたか	3	予算内で事業を実施することができ、投函式に参加した園児からも好評であったため。
課題					

「ふわっぴー10周年記念郵便ポスト設置」事業

投函式



市役所前郵便ポスト



ふじみ野駅東口



ふじみ野駅西口



鶴瀬駅東口



鶴瀬駅西口



みずほ台駅東口



みずほ台駅西口



市制施行50周年記念事業 実施報告書

事業実施課【シティプロモーション課】

事業名		「市制施行50周年記念映像及びPR映像作製」事業			
目的		市制施行50周年を記念し、市民と共に祝う「市制施行50周年記念映像」及び市外へ富士見市の魅力を発信する「富士見市PR映像」を作製する。PR映像は、ららぽーと富士見内のTOHOシネマズにおけるシネマ・アドバタイジングにて放映し、50周年を契機に市の魅力を広く効果的に発信し、認知度の向上を図る。			
実施体制 (担当課・市民参画等)		シティプロモーション課			
事業費	令和3年度	予算額	総額:2,967千円		
		執行額	総額:2,597千円 主な費用:映像作成委託料(50周年記念映像、PR映像)		
	令和4年度	予算額	総額:429千円(債務負担行為)		
		執行額	総額:429千円 主な費用:委託料		
実施内容 (実績)		<p>1 日時・場所</p> <p>①市制施行50周年記念映像 令和4年4月10日(日)式典会場のキラリふじみメインホールにおいて映像をお披露目</p> <p>②市PR映像 令和4年3月18日(金)～4月14日(木)の間、ららぽーと富士見TOHOシネマズの全スクリーンで放映(富士見市PR大使 板倉俊之さん出演)</p> <p>2 対象者・参加人数等 市民及び市外在住の方</p> <p>3 周知方法 令和4年4月10日(日)市制施行50周年記念式典において記念映像をお披露目し、その後、市ホームページ及び市公式YouTubeにて公開。</p> <p>4 具体的な内容 ・市制施行50周年記念映像として、市民が参加する、市の特徴や歴史を振り返る内容の映像 ・PR大使である板倉俊之さんに出演いただき、市の名前を印象付けるPR映像</p> <p>5 成果・効果</p> <p>①式典の参加者から、「見ているこちらも楽しくなる映像だった」という声や、映像に出演された方からは、「様々な世代の笑顔が繋がり、とても良い映像だった」という声をいただいた。 令和5年3月31日現在 6,635回再生</p> <p>②映画館総動員数 36,025人 上映回数 1,366回 令和5年3月31日現在 2,992回再生</p>			
事業評価			評価の視点	評価 (3段階)	評価理由
		目的達成度	当初の予定どおり事業の目的を達成できたか	3	多くの市民にご出演いただくことで、興味関心を持っていただき、式典においても市民とともに50周年を祝う効果的な発信ができたため
		費用対効果	事業費に見合う成果・効果は得られたか	3	各世代に参加いただき、広く発信することができたほか、PR大使である板倉さんに出演いただき、多くの方に周知でき、認知度向上に繋がったため。
課題					

「市制施行50周年記念映像及びPR映像作製」事業

●市制施行50周年記念映像



●市PR映像（板倉俊之さん出演）シネマアドバタイジング



市制施行50周年記念事業 実施報告書

事業実施課【シティプロモーション課】

事業名		「市内3駅発車メロディー放送」事業			
目的		市制施行50周年を記念して富士見市内にある3駅の発車メロディーを富士見市PR特別大使である、ももいろクローバーZの楽曲に変更することで市の認知度を高めるとともに、発車メロディーを通じて市民に笑顔になっていただき、市民満足度向上に繋げる。			
実施体制 (担当課・市民参画等)		シティプロモーション課			
事業費	令和3年度	予算額	総額:1,133千円		
		執行額	総額:1,056千円 主な費用:作製等業務委託・PRポスター印刷製本費・使用料及び賃借料		
	令和4年度	予算額	総額:1,098千円		
		執行額	総額:1,098千円 主な費用:著作権取得業務委託料・メロディ変更業務委託料・演奏使用料		
実施内容 (実績)		<p>1 日時・場所 実施日/令和4年4月8日(金)~3月31日(金) 場 所/東武東上線 ふじみ野駅・鶴瀬駅・みずほ台駅</p> <p>2 対象者・参加人数等 市内3駅利用者</p> <p>3 周知方法 広報、ホームページ、SNSにて周知</p> <p>4 具体的な内容 ふじみ野駅1番線(下り)「走れ!-ZZver.-」 ふじみ野駅2番線(下り)「ニッポン笑顔百景-ZZver.-」 ふじみ野駅3番線(上り)「笑-笑~シャオイ-シャオ!-」 ふじみ野駅4番線(上り)「行くぜっ!怪盗少女-ZZver.-」 鶴瀬駅1・2番線(下り・上り)「行くぜっ!怪盗少女-ZZver.-」 みずほ台駅1・2番線(下り・上り)「走れ!-ZZver.-」</p> <p>【関連イベント】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発車メロディーの放送に合わせて、ももいろクローバーZメンバーのオリジナルヘッドマークを掲出した列車の運行も行われた。 ・発車メロディー出発式実施 実施日:令和4年4月8日(金)ふじみ野駅にて、ももクロメンバーの佐々木彩夏さんと高城れにさんが一日駅長として参加。 ・発車メロディー出発式展示イベント 期間:令和5年3月3日(金)~3月31日(金) 場所:ららぽーと富士見 出発式にてメンバーが着用した制服のほか、ヘッドマーク、写真を展示。 <p>5 成果・効果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発車メロディーをももクロの楽曲に変更する事は話題性も高く、出発式には多くのメディアが取材に来た。(出発式取材申込件数25社) ・問合せメールにて発車メロディー継続の要望が複数あった。 			
事業評価		評価項目	評価の視点	評価 (3段階)	評価理由
		目的達成度	当初の予定どおり事業の目的を達成できたか	3	当初の予定どおり市内3駅の発車メロディーをももクロの楽曲に変更でき、話題性もあり市の50周年をPRすることができた。
		費用対効果	事業費に見合う成果・効果は得られたか	3	話題性があり多くのメディアに取り上げられ富士見市をPRできた。通常であれば数千万円程の広告費用がかかる試算である。
課 題					

「市内3駅発車メロディー放送」事業

市制施行50周年を記念して富士見市内にある3駅の発車メロディーを富士見市PR特別大使である、ももいろクローバーZの楽曲に変更した。話題性も高く、出発式には多くのメディアが取材に来た。



出発式には、ももいろクローバーZの佐々木彩夏さん、高城れにさんが参加

市制施行50周年記念事業 実施報告書

事業実施課【シティプロモーション課】

事業名		「ふわっぴー10周年記念お誕生日会イベント」事業			
目的		富士見市マスコットキャラクター「ふわっぴー」が令和4年度で10周年を迎えることを記念してイベントを開催し、富士見市のさらなる活性化と、未来に向けた賑わいづくりにつなげていくこと			
実施体制 (担当課・市民参画等)		シティプロモーション課			
事業費	令和3年度	予算額	総額:0千円		
		執行額	総額:0千円 主な費用:		
	令和4年度	予算額	総額:2,357千円		
		執行額	総額:2,358千円 主な費用:ステージ等作成費		
実施内容 (実績)		<p>1 日時・場所 実施日/令和5年2月23日(祝・木) 実施場所/ららぽーと富士見 屋内広場</p> <p>2 対象者・参加人数等 延べ人数/1,130人</p> <p>3 周知方法 ・令和5年2月2日(木)ポスター掲出、チラシ配布 ・令和5年2月13日(月)J:COM「LIVEニュース～東上～」に出演 ・市ホームページやツイッター、インスタグラム等への掲載</p> <p>4 具体的な内容 ・ふわっぴーの新しい衣装及びふわっぴー絵本のお披露目 ・他自治体(埼玉県、ふじみ野市、三芳町、志木市)のご当地キャラ写真撮影会 ・自治体ブースなど</p> <p>5 成果・効果 ・コロナの感染対策をする中での実施であったため、観覧エリアに人数制限を設け整理券配布を実施したが、開始30分で配布終了となった。 ・近隣自治体の(三芳町、ふじみ野市、志木市、埼玉県)ご当地キャラクターにも参加していただき、多くの集客ができた。同時に、出店自治体からもPRブースに多く足を運んでもらえたとお声をいただくことができた。 ・ご当地キャラクター撮影会は非常に多くの方に参加してもらうことができた。 ・人数制限等はありませんが多くの人に訪れていただき、賑わいづくりにつなげていくことができた。</p>			
事業評価		評価項目	評価の視点	評価 (3段階)	評価理由
		目的達成度	当初の予定どおり事業の目的を達成できたか	3	コロナ感染対策の中での実施とはなったが、観覧エリアでの整理券はすべて配布し、エリア外で参加してくれる方も多く、市の活性化、賑わいづくりとなった。
		費用対効果	事業費に見合う成果・効果は得られたか	3	ららぽーと富士見に協力いただき予算内で、舞台演出から運用まで効果的に実施することができた。
課題					

「ふわっぴー10周年記念お誕生日会イベント」事業

写真①（オープニング）



写真②授賞式



写真③全体写真



市制施行50周年記念事業 実施報告書

事業実施課【シティプロモーション課】

事業名		「ふじみ☆ふわっぴー絵本作製」事業			
目的		未来を担う子ども達が、幼児期から富士見市に親しみを持つことで愛着を醸成し、次の50年へとしっかりバトンを繋げることを目的に、本市を舞台とした絵本を作成する。			
実施体制 (担当課・市民参画等)		シティプロモーション課			
事業費	令和3年度	予算額	総額: 28千円		
		執行額	総額: 27千円 主な費用: 懇談会参加者謝礼、食糧費		
	令和4年度	予算額	総額: 2,458千円		
		執行額	総額: 1,743千円 主な費用: 絵本構成・ストーリー制作費		
実施内容 (実績)		<p>1 日時・場所 発行日/令和5年2月23日(祝・木) ふわっぴー10周年記念お誕生日会イベントにて限定販売を実施。</p> <p>2 対象者・参加人数等 ・3~5歳の就学前の幼児</p> <p>3 周知方法 ・市ホームページやツイッター、インスタグラム等への掲載 ・ふわっぴーお誕生日会でお披露目し、来場者へ周知・販売</p> <p>4 具体的な内容 「ぼくの☆(ほし)をしりませんか」 ・ストーリーの軸となるテーマとプロットを募集し、全44作品から選考を経て採用 ・富士見市が舞台であり、ふわっぴーが主人公の絵本 ・作成部数/300冊</p> <p>5 成果・効果 ・お誕生日会で絵本の販売を実施したが、予定販売数50冊を上回る66冊を販売した。 ・販売分以外は子どもに関する施設等(図書館、保育施設、産科、小児科等)に配布して広く周知した。 ・図書館の貸出に関して、4~6月末に鶴瀬西分館にて貸し出し回数1位を獲得した。 ・ふわっぴーお誕生日会でお披露目したことにより、会場に来ていた多くの方に周知することができた。また、読み聞かせを実施したことにより子供たちの愛着の醸成につながった。</p>			
事業評価			評価の視点	評価 (3段階)	評価理由
		目的達成度	当初の予定どおり事業の目的を達成できたか	3	図書館での貸し出しが好評であることや、販売終了後も購入希望の問い合わせが来るなど、子どもたち多くの目に触れることができ、親しみを持つことで愛着を醸成することができた。
		費用対効果	事業費に見合う成果・効果は得られたか	3	予定販売数の50冊を超える66冊を販売することができ、販売終了後も追加販売してほしいとの問い合わせをいただくことができた。
課題					

「ふじみ☆ふわっぴー絵本作製」事業

絵本の表紙



絵本の中面①



絵本の中面②



市制施行50周年記念事業 実施報告書

事業実施課【シティプロモーション課】

事業名		「謎解きデジタルスタンプラリー」事業			
目的		市民に対して、地域の魅力を再発見してもらうことで、市への愛着を深めてもらうこと、市外の方には、富士見市を訪れることで興味・関心をもってもらう。			
実施体制 (担当課・市民参画等)		シティプロモーション課、ステークホルダーミーティング参加者(成人式実行委員、富士見高校生徒会、図書館職員、市役所若手職員)			
事業費	令和3年度	予算額	総額:0千円		
		執行額	総額:0千円 主な費用:		
	令和4年度	予算額	総額:5,437千円		
		執行額	総額:5,362千円 主な費用:スタンプラリーの企画立案・実施、賞品代、賞品発送料		
実施内容 (実績)		<p>1 日時・場所 実施期間/令和4年9月15日(木)~令和5年1月31日(火) 謎解きスポット/①ふじみ野駅②勝瀬原記念公園③三井ショッピングパーク ららぽーと富士見④富士見市民文化会館キラリふじみ⑤山崎公園⑥水子貝塚公園⑦難波田城公園⑧びん沼自然公園</p> <p>2 対象者・参加人数等 ○対象者/小学生以上、家族など ○参加者/10,978人</p> <p>3 周知方法 市の広報、ポスターの掲示、チラシの配布、SNSを活用した周知を実施。</p> <p>4 具体的な内容 ウェブサイト上に特設ページを作成し、スマートフォンだけで参加できる謎解き形式のデジタルスタンプラリーを実施。市内8か所に謎解きスポットを設置し、富士見市を舞台にしたオリジナルストーリーに沿って謎を解きながら楽しめるものとした。 また、回答の正解数に応じ、100名以上が当選する賞品を用意した。</p> <p>5 成果・効果 応募者数は目標1,130名に対し、1,761名が応募した。 また、参加者の96.9%が当事業が楽しかったと回答し、次回開催があれば参加したいといった結果となった。 参加者の8割が市内で食事、買い物をしており、約6,800,000円の消費額であった。</p>			
事業評価		評価項目	評価の視点	評価 (3段階)	評価理由
		目的達成度	当初の予定どおり事業の目的を達成できたか	3	市内を周遊するイベントが今までなかったことから、当イベントを機に富士見市を知ってもらうことができたため。
		費用対効果	事業費に見合う成果・効果は得られたか	3	多くの方から、反響をいただき、また、市内での消費額も多かったことから、効果・成果を得られたため。
課題					

「謎解きデジタルスタンプラリー」事業

謎解きパネル

山崎公園



水子貝塚公園



勝瀬原記念公園



難波田城公園



特設サイト



市制施行50周年記念事業 実施報告書

事業実施課【シティプロモーション課】

事業名		「市制施行50周年記念 埼玉新聞特集記事掲載」事業			
目的		市制施行50周年を広く周知するとともに機運醸成を図るため、富士見市のこれまでの歩みを振り返るとともに、これからの未来を見据え、「過去」、「現在」、そして「未来」を特集した紙面とする。			
実施体制 (担当課・市民参画等)		シティプロモーション課			
事業費	令和3年度	予算額	総額:0千円		
		執行額	総額:0千円 主な費用:		
	令和4年度	予算額	総額:880千円(債務負担行為)		
		執行額	総額:880千円 主な費用:広告料		
実施内容 (実績)		<p>1 日時・場所 発行日/令和4年4月8日(金)</p> <p>2 対象者・参加人数等 埼玉県内</p> <p>3 周知方法 ・令和4年4月8日(金)の発行 ・令和4年4月10日(日)市制施行50周年式典出席者への配布 ・市ホームページへの掲載</p> <p>4 具体的な内容 発行部数/117,649部 抜刷紙面10,000部</p> <p>5 成果・効果 ・埼玉新聞1面の下段に「富士見市50年」の広告が入り目を引くデザインとなった。 ・抜刷紙面は「ももクロ春の一大事」等のイベントでも配布し市のPRにつながった。</p>			
事業評価		評価項目	評価の視点	評価 (3段階)	評価理由
		目的達成度	当初の予定どおり事業の目的を達成できたか	3	印刷部数は保存用以外ほぼ配布したため多くの人に富士見市50周年をPRできた。
		費用対効果	事業費に見合う成果・効果は得られたか	3	一部約7円弱の費用で、117,649部の新聞を発行し富士見市50周年をPRできた。
課題					

「市制施行50周年記念 埼玉新聞特集記事掲載」事業

市制施行50周年を広く周知し機運醸成を図るため、「過去」、「現在」、そして「未来」を特集した紙面とした。

発行部数/117,649部 抜刷紙面10,000部

市制施行50周年記念事業 実施報告書

事業実施課【 シティプロモーション課・産業経済課・農業振興課 】

事業名		「FUJIMI☆クラフトビアフェスタ」事業		
目的		クラフトビアフェスタの開催を通じて、市民同士や市民と来訪者との交流を促進し、地元への愛着の醸成及び対外的な魅力の発信を行うとともに、市内産業の活性化を図る。		
実施体制 (担当課・市民参画等)		(事務局)シティプロモーション課・産業経済課・農業振興課、FUJIMIクラフトビアフェスタ実行委員会(イベント運営)		
事業費	令和3年度	予算額	総額:0千円	
		執行額	総額:0千円 主な費用:	
	令和4年度	予算額	総額:3,722千円	
		執行額	総額:3,722千円 主な費用:FUJIMIクラフトビアフェスタ実行委員会補助金	
実施内容 (実績)		<p>1 日時・場所 令和5年3月21日(祝・火)クラフトビアフェスタ 午前11時00分～午後6時00分 スカイランタン打上げ 午後6時15分～午後7時00分 富士見市民文化会館キラリ☆ふじみ</p> <p>2 対象者・参加人数等 市内外から多数の方が来場</p> <p>3 周知方法 ・令和4年11月から公式ホームページ・Instagram・Twitterを開設 ・令和4年12月から市ホームページにてイベント開催関連記事を掲載 ・令和5年1月からポスター・チラシ配布による広報開始 ・広報富士見2月号でイベント開催関連記事を掲載 ・令和5年2月に市Twitter・Facebook・メールマガジン・LINE・都市宣言塔及び テレ玉データサービスにてイベントの関連情報を発信 ・令和4年11月に富士見市PR大使の倉本康子さんをアンバサダーに任命しSNS等 での発信を依頼 【パブリシティによる周知】 ・3/11 日本ビアジャーナリスト協会ホームページに取材記事掲載 ・3/18 埼玉新聞に取材記事掲載 ・3/20 JCOM LIVEニュース東上にてイベント紹介(生放送) ・3/20 NHK首都圏ネットワーク・天気予報コーナーにて紹介</p> <p>4 具体的な内容 ・クラフトビールエリアの18ブースにて、市内2社を含む、ブルワリー19社のクラフト ビールを提供。 ・市内産の農産物(米・トマト)を使用したクラフトビールを醸造し、来場者に提供。 ・市内飲食店が富士見市美味いもんエリアに10ブース、キッチンカーエリアに5店 舗出店し、クラフトビールに合うメニューや特産品を提供。 ・淑徳大学ボランティアサークルによる王冠マグネット作成ワークショップを実施。 ・淑徳大学ボランティアサークルによるパネルシアター「ビールってのはたけでうま れるんだよ」を実施。 ・コエドブルワリーによるワークショップ「コエドビール学校富士見分校」を実施。 ・屋外ミニライブステージ。キラリ☆ふじみで活躍する7組が出演。 ・キラリ☆ふじみ内ロビーにグランドピアノを設置し、ストリートピアノとして来場者 に自由に演奏していただく場を提供。 ・ビアフェス終了後にスカイランタンの打ち上げを実施。</p> <p>5 成果・効果 市民同士や市外からの来訪者との交流の場が提供されたことで、市内に賑わい を創出し、市に対する愛着の醸成及び対外的な魅力の発信を行うことができた。 市内産業の活性化や文化芸術に触れる機会の創出につなげることができた。</p>		
事業評価	評価項目	評価の視点	評価 (3段階)	評価理由
	目的達成度	当初の予定どおり事業の目 的を達成できたか	3	市内外から多数の方に来場いただき、多くの方に市 の魅力を発信することができた。
	費用対効果	事業費に見合う成果 ・効果は得られたか	3	イベントを開催することで、市のPR、産業の活性化、 文化芸術に触れる機会を新たに創出することができ た。
課題		多数の方に来場いただいたため、お店に長蛇の列ができたり、売り切れ店が続出したりするなど、来場者に不便を掛ける状況となってしまった。		

令和5年3月21日（祝日・火曜日）午前11時から、FUJIMIクラフトビアフェスタが富士見市民文化会館キラリ☆ふじみで開催されました。



星野市長、倉本PR大使、浅見実行委員長による乾杯



アレクサンドラ・コヴァチュ駐日セルビア共和国特命全権大使（右）も来場



美味いもんエリア



カンパイスペース



ミニライブステージ



パネルシアター



スカイランタンの打上げ



コエドビール学校富士見分校

市制施行50周年記念事業 実施報告書

事業実施課【協働推進課】

事業名		「富士見ふるさと祭り」事業			
目的		「富士見ふるさと祭り」を市制施行50周年記念事業として開催			
実施体制 (担当課・市民参画等)		協働推進課・文化スポーツ振興課・人権市民相談課・産業経済課・農業振興課・環境課			
事業費	令和3年度	予算額	総額:0千円		
		執行額	総額:0千円 主な費用:		
	令和4年度	予算額	総額:8,000千円		
		執行額	総額:8,000千円 主な費用:ふるさと祭り開催事業補助金		
実施内容 (実績)		<p>1 日時・場所 令和4年10月22日(土) 午前9時から午後4時 富士見市役所周辺</p> <p>2 対象者・参加人数等 市民 延べ36,000人</p> <p>3 周知方法 ホームページ・広報富士見・ポスター</p> <p>4 具体的な内容 市民によるステージイベント、輪踊り、お囃子、模擬店、フリーマーケットなど</p> <p>5 成果・効果 市民との協働による祭りの開催で、賑わいと活力ある「ふるさと富士見」の魅力を高めるとともに、世代を超えた交流により市民の一体感とコミュニティを生み出すことができた。</p>			
事業評価		評価項目	評価の視点	評価 (3段階)	評価理由
		目的達成度	当初の予定どおり事業の目的を達成できたか	3	想定を超える来場者があり、賑わいや交流をすることができたため
		費用対効果	事業費に見合う成果・効果は得られたか	2	市最大のお祭りが開催されたことで、市制50周年を祝うことができたため
課題		・今回は補助金が増額されていたので、決算時には繰越金が見込めているが、通常の補助金額では赤字が見込まれるため、開催が難しい。			

22富士見ふるさと祭り

令和4年10月22日(土曜日)午前9時から
22富士見ふるさと祭りが開催されました。
当日は、秋晴れの中、多くの来場者で賑わい、
盛大な祭りとなりました。



富士見台中学校吹奏楽部によるオープニング



PHOENIX によるチアリーディング



シャバツ市長をはじめとするシャバツ市代表
団や、アレクサンドラ・コヴァチュ特命全権大
使ら在日セルビア共和国大使館の皆様が来
訪。ステージ及び輪踊りに参加。



うまいもん広場



ふわっぴー撮影コーナー



東武鉄道(株)出店ブース前にて



輪踊り寄せ太鼓

市制施行50周年記念事業 実施報告書

事業実施課【文化・スポーツ振興課】

事業名		「舞台芸術鑑賞」事業			
目的		舞台芸術鑑賞事業に対し補助金を交付し市制施行50周年記念事業を開催する。普段、身近な施設で体験できない文化芸術に触れられる機会を市民と共に創出する。			
実施体制 (担当課・市民参画等)		文化・スポーツ振興課、富士見市舞台芸術鑑賞会実行委員会、富士見市の舞台芸術を支援する会			
事業費	令和3年度	予算額	総額:0千円		
		執行額	総額:0千円 主な費用:		
	令和4年度	予算額	総額:7,387千円		
		執行額	総額:7,387千円 主な費用:舞台芸術鑑賞会補助金		
実施内容 (実績)		<p>1 日時・場所</p> <p>①令和4年度 松竹歌舞伎舞踊公演 キラリ☆ふじみ メインホール 令和4年7月28日(木)14:00開演</p> <p>②朗読劇「家族草子」公演 キラリ☆ふじみ マルチホール 令和4年11月26日(土)ワークショップ 10:00～(小学生対象)13:00～(中学生対象) 27日(日)公演 11:00～、12:30～、14:30～、16:00～</p> <p>2 対象者・参加人数等</p> <p>①対象者:市内在住・在勤・在学のどなたでも(往復はがき) 市内在住・在学の中学生とその保護者(中学生招待) 一般(松竹櫓が運営する「Web松竹」によるチケット一般販売) 参加人数:592人</p> <p>②対象者:ワークショップ…市内在住・在学の小中学生 公演…一般(未就学児を除く) 参加人数:のべ227人(4公演合計)</p> <p>3 周知方法</p> <p>①市HP、市広報、市Twitter、市内各中学校生徒への全員資料配布、公共施設・商業施設へのポスター掲示、市内3駅パンフレットスタンドへのチラシ設置</p> <p>②市HP、市Twitter、市内各小中学校・特別支援学校への全員資料配布、公共施設・商業施設へのポスター掲示、市内3駅パンフレットスタンドへのチラシ設置</p> <p>4 具体的な内容</p> <p>①全国巡業の一公演として実施。演目は「御挨拶」「操り三番叟」「連獅子」。出演は中村芝翫、中村橋之助、中村福之助、中村歌之助、中村松江ほか</p> <p>②[ワークショップ]ストレッチや気持ちを届ける練習、実際の台本を使った演技指導 [公演]朗読と芝居を融合させた独自のエンターテインメント。演目は「後出しジャンケン」「イキヌクキセキ」。 主宰・原作・脚本はSMAP「青いイナズマ」「Shake」等の作詞家である森浩美氏。</p> <p>5 成果・効果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身近な施設で優れた文化芸術に触れられることで文化芸術活動の振興及びすそ野が広がった。 ・アンケートから非常に高い満足度が得られたことがわかり、児童・生徒の感性や創造性を育むことができた。 ・市民との協働によるまちづくりの一助となった。 			
事業評価		評価項目	評価の視点	評価 (3段階)	評価理由
		目的達成度	当初の予定どおり事業の目的を達成できたか	3	①②とも効果的に児童生徒への鑑賞機会の提供を行うことができ、また保護者など大人も興味を持てる内容だった。
課題		費用対効果	事業費に見合う成果・効果は得られたか	3	多くの方から反響をいただいた。中でも児童生徒が無料で鑑賞できる点の満足度が高く、成果・効果は十分に得られた。
		事業の周知方法を工夫する必要がある(動画などの媒体による広報など)。今後目的をより大きく達成するためには事業内容を児童生徒向けに特化して検討する必要がある。			



①当日物販のようす



①演目「御挨拶」



①演目「連獅子」



②ワークショップのようす



②ワークショップのようす2



②演目「イキヌクキセキ」

市制施行50周年記念事業 実施報告書

事業実施課【文化・スポーツ振興課】

事業名		「心から楽しむ、笑う吉本新喜劇」事業			
目的		市制施行50周年を市民と共に祝い楽しむことで、富士見市へのさらなる愛着醸成を図る。			
実施体制 (担当課・市民参画等)		文化・スポーツ振興課			
事業費	令和3年度	予算額	総額:0千円		
		執行額	総額:0千円 主な費用:		
	令和4年度	予算額	総額:7,705千円		
		執行額	総額:7,233千円 主な費用:公演委託料、会場使用料、チケット販売手数料		
実施内容 (実績)		<p>1 日時・場所 令和4年9月18日(日) 午後3時開演 富士見市民文化会館キラリ☆ふじみ メインホール</p> <p>2 対象者・参加人数等 当日来場者数 580人 市民出演者 10人 お笑いワークショップ参加者 6人</p> <p>3 周知方法 ・市広報8月号に掲載し、併せて市HP及びSNSでも発信したほか、公共施設等にポスター及びチラシを掲出。 ・市民出演者及びお笑いワークショップの募集についても、それぞれ公共施設等にポスター及びチラシを掲出。</p> <p>4 具体的な内容 【お笑いワークショップ】 小学校4～6年生から参加者を公募し、吉本興業所属の漫才コンビ「天狗」が講師を務めるワークショップを全5回実施。受講した6人は、9月18日の公演当日に漫才を披露。 【市民出演者】 公募で決定した0歳から61歳まで10人の市民が、吉本新喜劇に出演。 【吉本新喜劇富士見市公演】 漫才出演者:お笑いワークショップ受講者(小学生3組)・天狗・スリムクラブ・レギュラー・2丁拳銃 新喜劇出演者:市民出演者・川畑泰史(座長)・山田花子 ほか 【その他】 富士見市PR大使である板倉氏が随所に登場し、会場を盛り上げた。</p> <p>5 成果・効果 ・公演当日には多くの方に来場していただき、大いに楽しみ、ともに市制施行50周年を祝うことができた。 ・笑いワークショップや市民出演などにより、市民に得難い経験をjする機会を提供するとともに、市民参加を図ることができた。</p>			
事業評価		評価項目	評価の視点	評価 (3段階)	評価理由
		目的達成度	当初の予定どおり事業の目的を達成できたか	3	多くの市民とともに、市制施行50周年を祝うことができた。また、PR大使出演などにより、市の魅力発信と愛着醸成を図ることができた。
		費用対効果	事業費に見合う成果・効果は得られたか	3	吉本新喜劇公演に加えて、お笑いワークショップや市民出演者募集を行うことで、市民に得難い経験をj提供することができた。
課題		お笑いワークショップ参加者は小学校4～6年生から10名を公募したが、最終的に応募者が6名にとどまった。原因としては、対象とした年齢層は子ども大学、子どもスポーツ大学、子ども文化芸術大学の募集対象年齢と重複していることが考えられる。			

市長あいさつ



ワークショップ受講者による漫才披露



板倉氏と天狗による講評



漫才（レギュラー）



休憩中（板倉氏と天狗によるトーク）



吉本新喜劇にも市民が出演



市制施行50周年記念事業 実施報告書

事業実施課【文化・スポーツ振興課】

事業名		「NHK全国放送公開番組招致」事業			
目的		市制50周年の記念として、市民と共に富士見市での思い出を作ることにより、まちへの愛着を深める。			
実施体制 (担当課・市民参画等)		文化・スポーツ振興課(その他、応援職員の保健師、TOPサポーター含む)、NHKさいたま放送局(共催)			
事業費	令和3年度	予算額	総額:0千円		
		執行額	総額:0千円 主な費用:		
	令和4年度	予算額	総額:828千円		
		執行額	総額:429千円 主な費用:会場使用料、事業協力者謝礼		
実施内容 (実績)		<p>1 日時・場所 令和5年2月19日(日)開場/午後3時、開演/午後3時50分、終演/午後6時 富士見市民文化会館キラリ☆ふじみ(富士見市大字鶴馬1803-1)メインホール</p> <p>2 対象者・参加人数等 市内・市外(県外含む)のどなたでも可(未就学児不可)。使用可能764席中585人 来場。</p> <p>3 周知方法 ・令和4年12月12日から市ホームページにて掲載 ・令和4年12月12日からNHKホームページにて掲載 ・令和4年12月23日に市公式LINEにて発信 ・令和4年12月23日に市Facebookにて発信 ・広報富士見1月号にて掲載 ※往復はがき(1枚で2人まで)で申込み。 621組1,163人の応募があり、申し込み多数のため抽選。</p> <p>4 具体的な内容 ・令和5年2月19日(日)ブラボー！オーケストラの公開収録(共催) 出演【ソリスト】伊藤 恵(ピアノ) 【指揮】齋藤 友香理 【管弦楽】東京フィルハーモニー交響楽団 放送(NHK-FM)令和5年3月5日(日)・12日(日)午後7時20分～8時20分 ・その他バックステージツアー(共催) 子ども文化芸術大学☆ふじみ特別講義「番組制作の舞台裏を見てみよう！」 令和5年2月19日(日)集合/午後1時30分、見学終了/午後2時50分 場所 富士見市民文化会館キラリ☆ふじみ(公開収録会場) 内容 「ブラボー！オーケストラ」のゲネプロ(最終リハーサル)一部見学、NHK 音声中継車見学等 対象 子ども文化芸術大学☆ふじみ参加者とその保護者1名(計2名) 実績 6組12名</p> <p>5 成果・効果 ・市外・県外からも多数の応募があり、「富士見市」という場所や、市制施行50周年 であることをPR出来た。 ・無料で素晴らしい音楽を聴く機会を設けることが出来た。 ・お手伝いとしてTOPサポーターを活用し、本イベントの観覧者としてだけでなく、運 営側にも市民参加の機会を設けることが出来た。</p>			
事業評価		評価項目	評価の視点	評価 (3段階)	評価理由
		目的達成度	当初の予定どおり事業の目的を達成できたか	3	文化芸術の発信拠点であるキラリ☆ふじみで、無料で気軽に、素晴らしい音楽に接する機会を作ることが出来た。市内小学生に舞台裏を見せるバックステージツアーといった、当初予定していた以上の事業も行った。
課題		費用対効果	事業費に見合う成果 ・効果は得られたか	3	出演料やパンフレット印刷代は共催であるNHKさいたま放送局負担のため、キラリ☆ふじみの施設使用料等の支出のみだった。無料で素晴らしい音楽を聴く機会を設けることが出来た。市外、県外からの集客も出来た。
		<p>・同日に別イベントが重なっており当課職員が二手に分かれる形となったため、人員調整や役割分担に配慮する必要があった。 ・往復はがきで1人何枚でも応募できるが、申込者の重複及び当選者の重複を外さなかった、キャンセル待ちも設けなかったこともあり、全て共催であるNHKの意向ではあったものの、当日空いている席があった。</p>			

さいたま~市
毎週水-金
午前11時から正午まで
FM85.1(狭義83.5)MHz

Twitterからも
情報をお届け!
@nhk_saitama_

NHK 聴き逃し
放送日
午後6時-1週間

カマフルは玉63
個性豊かな63の市町村が集まる
埼玉県地域の魅力をお伝えします!

NHKは、みなさまと受信料で支えられています
受信料制度へのご理解とご賛同の手続きをよろしくごお願いいたします

新規契約 **住所変更**

家族割引 **衛星契約への変更**

放送受信契約はスマートフォンでのお手続きが便利です

1. QRコードを読み取る
2. 受信料の申し込み
3. 受信料を支払う

0120-151515
058-3794-5693

NHK受信料の窓口 | NHKふれあいセンター 0570-077-077

NHK-FM 公開収録

**ブラボー!
オーケストラ**

2023年2月19日(日)
収録/午後3時50分 演奏予定/午後6時

会場 富士見市民文化会館 キラリ☆ふじみ

指揮 伊藤 暉 (ピアノ)

東京フィルハーモニー交響楽団

2023年3月5日(日)、12日(日)
午後7時20分~8時20分
<FM/公開放送>

FMNHK CITY 2023
50th ANNIVERSARY

注: NHK FMNHK CITY 2023 富士見



ブラボー！オーケストラ 市長挨拶



演奏の様子



バックステージツアー



NHK音声中継車見学

市制施行50周年記念事業 実施報告書

事業実施課【文化・スポーツ振興課】

事業名		「FUJIMI音楽祭」事業			
目的		市制施行50周年を市民と祝うとともに、全ての世代が楽しむことができる音楽祭を開催し気軽に文化芸術に親しめる機会を市民へ提供することで、市の文化芸術振興を図る。			
実施体制 (担当課・市民参画等)		文化・スポーツ振興課(事務局)、FUJIMI音楽祭実行委員会			
事業費	令和3年度	予算額	総額:19千円		
		執行額	総額:5千円 主な費用:実行委員会飲料代		
	令和4年度	予算額	総額:10,000千円		
		執行額	総額:6,879千円 主な費用:FUJIMI音楽祭実行委員会補助金		
実施内容 (実績)		<p>1 日時・場所 令和4年11月19日(土)・20日(日) 富士見市民文化会館キラリ☆ふじみ</p> <p>2 対象者・参加人数等 来場者数 延べ1,852人</p> <p>3 周知方法 <ul style="list-style-type: none"> ・市広報10月号に掲載し、併せて市HP及びSNSでも発信。 ・市内公共施設、学校や保育施設、ららぽーと富士見のほか、市内3駅、近隣自治体の文化会館、埼玉県庁、市内音楽教室にポスター、チラシを掲出。 ・実行委員長がテレビ埼玉の番組(情報番組マチコミ)に市長と共に出演しPR。 ・そのほか、出演者にSNS等で周知をしていただいた。 </p> <p>4 具体的な内容 <ul style="list-style-type: none"> ・パンフレット参照 </p> <p>5 成果・効果 <ul style="list-style-type: none"> ・実行委員や市民合唱団を始めとする出演者、当日の運営などに、多くの市民や市にゆかりのある方に関わっていただくことができた。 ・クラシックからジャズまで、幅広いジャンルのコンサートを実施し、また未就学児向けのコンサートも行われ、全ての世代が楽しめる音楽祭とすることができた。 ・市民合唱団による第九合唱が、新型コロナウイルス感染症対策としてソリストや合唱団を通常と大きく異なる配置とせざるを得ないなど、実施に際しては様々な困難もあったが、来場者からは高い評価をいただいた。 ・多くの方に来場いただき、市制50周年を祝うとともに音楽を楽しんでいただけたことに加え、市民参加で音楽祭を創り上げることができたことから、市の文化芸術振興と市民相互の交流に資することができた。 </p>			
事業評価		評価項目	評価の視点	評価 (3段階)	評価理由
		目的達成度	当初の予定どおり事業の目的を達成できたか	3	多くの市民が様々な形で参加する、全ての世代が楽しむことができる音楽祭を実施することで、市の文化芸術振興と市民相互の交流に資することができた。
		費用対効果	事業費に見合う成果 ・効果は得られたか	3	周年記念事業であることにご理解をいただき通常よりも低い金額で出演いただいたり、音楽事務所を介さずに事業を実施したりすることで、全体に経費節減を図ることができた。
課題		<ul style="list-style-type: none"> ・多くのコンサートやワークショップを実施したが、会場であるキラリ☆ふじみのキャパシティからすると過大であったため、出演者控室が不足するなど運営に無理が生じた。 ・さらなる集客をするためには、周知方法やチケット販売方法等の工夫が必要である。 			

FUJIMI CITY 50TH ANNIVERSARY MUSIC FESTIVAL 2022

オープニング

バロックの愉しみ
キラリ☆ふじみで癒し
芸術の秋♪古典入門

富士見市在住の世界的ヴァイオリニスト桐山健志とチェンバロ奏者大塚直哉によるレクイエムを交えたスペシャルコンサート。

Program
G. B. ツェルニーソナタ第2巻
A. コッリ・ヴァイオリンソナタ集作品5より「ソナタ」Op. 5-12
J. M. モテローラ・ヴァイオリンソナタ イ短調 Op. 5-7
G. F. ヘンデル・ヴァイオリンソナタ 第4巻 二短調 Op. 1-13
H. J. F. ケーセル・協奏曲
J. S. バッハ・ヴァイオリンとチェンバロのためのソナタ BWV1017

桐山 健志(ヴァイオリン)
大塚 直哉(チェンバロ)



11/19日
■11:00開演(10:30開場)
キラリ☆ふじみ メインホール
全自由席 一般1,000円/高校生以下300円

ウィンド・コンサート

吹奏楽ってカッコイイ!
佐藤正人&武蔵野音楽大学
吹奏楽の醍醐味

武蔵野音楽大学の学生による、魅惑的アコースティックの世界をご堪能下さい。

Program
① 吹奏楽「シンガーズ・ソングブック」
世界音楽「シンガーズ・ソングブック」 朝日新聞社
真島英夫/菅原洋/森田一浩/小島豊一「秋風」によるバリエーション
久石譲/亀井太郎 編曲「シンガーズ・ソングブック」
② フォーエー「風情楽隊」編曲「トラウマ」セッション
すずまこいち/真島英夫 編曲「ドラゴンクエスト」による
コンサート・セレブレーション
真島英夫 編曲「ルーサーズ・アコースティック」
③ シンガーズ・ソングブック「シンガーズ・ソングブック」
④ シンガーズ・ソングブック「シンガーズ・ソングブック」

佐藤 正人(指揮)
武蔵野音楽大学(吹奏楽)



11/19日
■16:00開演(15:30開場)
キラリ☆ふじみ メインホール
全自由席 一般/高校生以下500円

ナイトセッション

Wonderful World ジャズライブ
富士見市 市制施行50周年 特別企画
宮本貴奈 ピアノ&弾き語り

国際的に活躍するピアニスト・作曲家である宮本貴奈による、ピアノ弾き語りライブ。
物語が見えるようなライブアレンジ。演奏が聞く心地で、そしてポップなから、懐かしがり、モードなまで、ジャンルを超えて幅広い聴衆する宮本貴奈の演奏が、キラリ☆ふじみの夜を彩ります。さらにこのライブには、人形師やクラシック、手形型など多岐のアーティストとのコラボやパフォーマンスを手掛けるギタリスト竹中健二がスペシャルゲストとして出演します。

Program
Tea for Two (二人でお茶を)
Just the Two of Us (ソリタラの恋人達)
What a Wonderful World (この素晴らしい世界)
Spinby Chick Corea (スペイン)



11/19日
■19:00開演(18:30開場)
キラリ☆ふじみ マルチホール
全自由席 一般2,000円

キッズ・コンサート

ミュージカベベ ふじみ
赤ちゃんから大人まで楽しめる
0才からの音楽会

音楽を聴かせてあげると楽しい音が聞くと言われるムジカベベ、みんなでムジカベベを聴かせよう。ストーリー仕立ての音楽会。

Program
アイ・ゴット・リズム
進藤 麻衣(うた)
鈴木 奈緒子(うた)
市川 あずか(フォード)
川瀬 愛(オーケストラ)
岡村 加奈(ピアノ)



11/20日
■10:00開演(9:30開場)
キラリ☆ふじみ メインホール
全自由席 無料(入場整理券が必要です)

キラリ☆カガヤク ~ FUJIMI MUSIC SHOWCASE ~

市長や市にゆかりのある方など、プロアマ問わず幅広い出演者がさまざまなジャンルのコンサートを実施します。

11/19 SAT
9:30 開場
10:00-10:20 Fujiki Saxophone Ensemble
10:40-11:00 つるせが小学校合唱部
11:10-11:40 Duo Maestro
11:50-12:20 関仁美
12:30-13:00 落命佳美
13:10-13:50 ゴスベル・ブライタサイド
14:00-14:30 東海林 尚文
14:30-14:40 東海林 尚文と小学生コーラス
14:40-15:00 鶴瀬小学校合唱部

11/20 SUN
9:30 開場
10:00-10:20 ふじみ野小学校合唱部
10:30-11:00 石村 敬吾
11:10-11:40 おんがたのしく
11:50-12:20 うたのアリエ輪と和
12:40-13:20 大江 友海
13:30-14:00 浦和ギターアンサンブル
14:10-14:40 ワールズグループ加藤全
14:50-15:10 水谷小学校合唱部

キラリ☆ふじみ マルチホール
全自由席 無料 ●整理券は必要ございません
全ての演奏を自由にご覧いただけます

☆こどもおとなのためのしるるワークショップを開催。 ☆音楽祭 ホームページ
詳しくは音楽祭ホームページをご覧ください。 <https://www.city.fujimi.saitama.jp/musik/sanokuniya/festival/bunkai/fujimigakusai.html>
有 有料公演 無 無料公演 自 自由席 指 指定席 要 要入場整理券 未 未就学児入場不可

フィナーレ

Around The World 「音楽 de 世界一周」
FUJIMI☆音楽祭の最後を飾る
世界を旅するコンサート

富士見市文化芸術アドバイザー・北原幸男が指揮する「日本フィルハーモニー交響楽団」と一緒に、音楽で世界一周旅行に出かけませんか?
ペーター・ヤン交響曲第4楽章の演奏では、公募により結成された市民合唱団が参加します。
【With(オズ)コロナ時代によりお楽しみ、新しい楽しみ方をお楽しみください】

Program
オープニング 旗本退屈(大団)・富士見ファンファーレ(富士見市制施行50周年への祝典演奏)
日本 伊藤雄策・交響曲第10 第1楽章
スペイン ビゼー「歌劇「カルメン」より 闘牛士の歌、闘牛曲、ジプシーの歌
フランス フランシス・ブサック「交響曲「フランス」Op. 20 第5楽章
イタリア マスカーニ「喜劇「ワレヴィア」のメロディ」より 闘牛曲
イギリス エルガー「行進曲「威風凛々」Op. 39-1
ハンガリー シベリウス「金と銀」Op. 79
ドイツ ベートーヴェン「交響曲第9番 二短調(合唱付き)Op. 125より 第4楽章



北原 幸男(指揮)・東城 忠恵(ソプラノ)・山下 敦子(アルト)・廣川 健生(テナー)・伊藤 和広(バス)
キラリ☆カガヤク市民合唱団(合唱)・東海林 尚文・古澤 利人(合唱指揮)
日本フィルハーモニー交響楽団(吹奏楽)

11/20日 ■16:00開演(15:30開場)
キラリ☆ふじみ メインホール
全席定席 一般3,000円/高校生以下1,000円

パンフレット



フィナーレ(市民合唱団)



ウィンド・コンサート



ワークショップ

市制施行50周年記念事業 実施報告書

事業実施課【文化・スポーツ振興課】

事業名		「富士見ファンファーレ」事業			
目的		令和4年度に迎える市制施行50周年を市民と祝うとともに、クラシック音楽の素晴らしさを分かち合うため、節目の年にふさわしいファンファーレを募集する。			
実施体制 (担当課・市民参画等)		文化・スポーツ振興課、富士見ファンファーレ選考委員会			
事業費	令和3年度	予算額	総額: 720千円		
		執行額	総額: 486千円 主な費用: 選考委員謝礼、採用賞金、練習謝礼、募集周知ポスター等印刷製本費		
	令和4年度	予算額	総額: 0円		
		執行額	総額: 0円 主な費用:		
実施内容 (実績)		<p>1 日時・場所 作品公募: 令和3年6月1日(火)～7月31日(土) 選考: 令和3年8月16日(月)～10月11日(月) 賞金贈呈式: 令和3年11月3日(水・祝) 練習会: 令和4年2月12日(土)～3月21日(月)@キラリふじみマルチホール 音源録音: 令和4年3月18日(金)@武蔵野音楽大学 楽曲披露: 令和4年4月10日(日)50周年記念式典@キラリふじみメインホール 楽曲使用: 令和4年4月10日(日)50周年記念式典以降随時イベント等で使用 令和4年4月11日(月)～令和5年3月31日(金)庁舎内で放送 (令和4年5月2日～始業チャイムとして使用)</p> <p>2 対象者・参加人数等 応募対象: どなたでも 応募総数: 31個人1団体(うち市内11個人1団体)合計36曲</p> <p>3 周知方法 市HP、市広報、市Twitter、市内公共施設・学校・商業施設・音楽教室へのポスター掲示、近隣音楽大学へのポスター掲示、市内3駅ポスター掲示・パンフレットスタンドへのチラシ設置</p> <p>4 具体的な内容(敬称略) ・富士見市オリジナルのファンファーレを公募、選考委員会にて採用曲を1曲選定 採用曲: 富士見市市制施行50周年への祝典序曲/ 國分大悟 ・採用曲の作曲家へ賞金10万円を贈呈 ・選考委員会による選定 選考委員: 北原幸男(指揮者)、倉本真理(ピアニスト)、水野美代子(富士見市音楽連盟)、手島稔(富士見市民吹奏楽団)、宮沢高章、古寺優一、鈴木誠 ・武蔵野音楽大学との連携による音源録音 ・50周年記念式典での富士見市民吹奏楽団によるお披露目</p> <p>5 成果・効果 ・合計36曲の応募を得ることができた。 ・庁舎内始業チャイムに採用するなど積極的な周知、活用を行った。 ・50周年記念式典でお披露目したことで、50周年のスタートを広く周知することができた。 ・様々なイベント等での使用実績が得られた</p>			
事業評価		評価項目	評価の視点	評価 (3段階)	評価理由
		目的達成度	当初の予定どおり事業の目的を達成できたか	3	多くの応募や反響をいただくことができた。また、選考委員会にて適正で厳正な審査が行われ、もっともふさわしい楽曲を選定できた。
課題		費用対効果	事業費に見合う成果・効果は得られたか	3	多くの方から反響をいただいたことから成果・効果を十分に得られた。また、市内において楽曲を市イベントや学校行事等多くの団体に利用していただいた。
		市制50周年当該年度以降の楽曲活用を広く行う必要がある			



賞金贈呈式



50周年記念式典に向けた練習(富士見市民吹奏楽団)



音源録音



50周年記念式典でのお披露目

市制施行50周年記念事業

富士見ファンファーレ 作品募集

賞金10万円

応募資格 制限はありません。
(応募時点で20歳未満の未成年者は保護者の同意書の添付を必要とします。)

応募方法 電子メールか郵送、窓口持参にて。

令和3年
応募期間 **6月1日(火)~7月31日(土)** (必着)

応募先 富士見市役所 文化・スポーツ振興課 富士見ファンファーレ担当
(問合せ先) 〒354-8511 埼玉県富士見市大字藪馬1800番地の1 電話049-257-6352

富士見ファンファーレ募集

作品公募 募集ポスター

富士見市市制施行50周年への祝典序曲

Musique

採用曲「富士見市市制施行50周年への祝典序曲」楽譜抜粋

市制施行50周年記念事業 実施報告書

事業実施課【文化・スポーツ振興課】

事業名		「市民文化祭」事業			
目的		市制施行50周年の認知度向上及び機運醸成のため、富士見市民文化祭を冠事業として実施する。			
実施体制 (担当課・市民参画等)		文化・スポーツ振興課(事務局)、富士見市民文化祭実行委員会			
事業費	令和3年度	予算額	総額:0千円		
		執行額	総額:0千円 主な費用:		
	令和4年度	予算額	総額:800千円		
		執行額	総額:711千円 主な費用:富士見市民文化祭実行委員会補助金		
実施内容 (実績)		<p>1 日時・場所 令和4年10月30日(日)~11月13日(日) 富士見市民文化会館キラリ☆ふじみ</p> <p>2 対象者・参加人数等 出品・出演者数:延べ784人 来場者数:延べ2,866人</p> <p>3 周知方法 ・市広報8月号で出演者及び出品作品を募集。 ・市広報10月号で開催を周知。 ・公共施設及び町会掲示板にポスターを掲示したほか、公共施設にチラシを設置。 ・このほか、市HPやSNSでも情報発信。</p> <p>4 具体的な内容 開催期間中に、展示発表・芸能発表・民謡大会・市民美術展・将棋大会・市民音楽祭が開催され、市民の日ごろの文化芸術活動の成果を発表する機会となるとともに、来場した市民に文化芸術の鑑賞機会を提供することができた。 また、来場者等に配布するプログラム表紙に50周年記念ロゴマークを使用するなど、市制施行50周年の認知度向上に努めた。</p> <p>5 成果・効果 ・新型コロナウイルス感染症の影響による中断を経て、3年ぶりの開催となった。 ・市民に発表機会、鑑賞機会、交流機会を提供することで市の文化芸術振興に資するとともに、市民文化祭に関わった多くの市民に市制施行50周年を周知し機運醸成を図ることができた。</p>			
事業評価		評価項目	評価の視点	評価 (3段階)	評価理由
		目的達成度	当初の予定どおり事業の目的を達成できたか	3	市民への発表機会、鑑賞機会、市民交流機会の提供に加え、市制施行50周年の認知度向上を図ることができた。
		費用対効果	事業費に見合う成果・効果は得られたか	3	例年と同様の予算額で市民文化祭を開催したことに加えて、市制施行50周年の認知度が向上したことから、費用対効果は高い。
課題		参加者の固定化・高齢化が課題となっているため、来年度以降の実行委員会で対応を検討していく。			

市民美術展



展示発表



市制施行50周年記念事業 実施報告書

事業実施課【文化・スポーツ振興課】

事業名		「ふじみヘルシーウォーク大会」事業			
目的		市内各地の文化財や豊かな自然を望みながら周回するウォーキング大会を開催し、市民の健康増進に寄与するとともに、市制施行50周年を周知する。			
実施体制 (担当課・市民参画等)		文化・スポーツ振興課、富士見市スポーツ推進委員			
事業費	令和3年度	予算額	総額:0千円		
		執行額	総額:0円 主な費用:		
	令和4年度	予算額	総額:300千円		
		執行額	総額:300千円 主な費用:ヘルシーウォーク大会補助金		
実施内容 (実績)		<p>1 日時・場所 令和4年5月15日(日) 午前8時10分開会式 午前8時10分第1走スタート 午前8時37分第2走スタート 午前8時45分第3走スタート 文化の杜公園周辺</p> <p>2 対象者・参加人数等 市民を含む富士見市近隣市町から305名が参加</p> <p>3 周知方法 市HP、市広報、各公共施設ポスター掲示</p> <p>4 具体的な内容 文化の杜公園をスタートし、市内各地の文化財や豊かな自然を望みながら周回するウォーキング大会。ファミリーコース(5km)のみ実施</p> <p>5 成果・効果 ウォーキングを行うことで、健康の保持及び増進、体力の維持向上や、参加者相互の交流の輪を広げることができた。</p>			
事業評価		評価項目	評価の視点	評価 (3段階)	評価理由
		目的達成度	当初の予定どおり事業の目的を達成できたか	2	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、内容を変更しての開催となったが、近隣からも多くの方が参加し、参加者同士の交流及び体力維持向上を図ることができた。
		費用対効果	事業費に見合う成果・効果は得られたか	2	近隣からも多くの方が参加し十分に成果・効果を得られた。
課題		新型コロナウイルス感染症拡大の影響により縮小開催となったため、対策講じながら健脚コース(10km)とファミリーコース(5km)の開催をできるように工夫が必要。			



市制施行50周年記念事業 実施報告書

事業実施課【文化・スポーツ振興課】

事業名		「バトテニス大会」事業			
目的		各地区で行っている方が集まり、お互いの親睦を深めると共に富士見市発祥のニュースポーツ「バトテニス」を普及につなげるとともに、市制施行50周年を祝うための大会とする。			
実施体制 (担当課・市民参画等)		文化・スポーツ振興課、富士見市スポーツ推進委員			
事業費	令和3年度	予算額	総額:0千円		
		執行額	総額:0千円 主な費用:		
	令和4年度	予算額	総額:27千円		
		執行額	総額:42千円 主な費用:富士見市スポーツ推進委員連絡協議会補助金		
実施内容 (実績)		<p>1 日時・場所 令和4年11月6日(日) 午前9時40分開会式 午前10時試合開始 午後1時00分閉会式 市民総合体育館メインアリーナ</p> <p>2 対象者・参加人数等 市内在住・在勤・在クラブ員の方28チーム56名が参加</p> <p>3 周知方法 市HP、市広報、過去参加チームへの案内</p> <p>4 具体的な内容 ・4チームごとの8つのグループに分けリーグ戦 ・リーグ戦結果をもとに全参加チームの順位をつけ、順位別トーナメント ・PR大使千種ゆりこさん参加</p> <p>5 成果・効果 参加者の親睦を深めるとともに、富士見市発祥のニュースポーツバトテニスの普及につながった</p>			
事業評価		評価項目	評価の視点	評価 (3段階)	評価理由
		目的達成度	当初の予定どおり事業の目的を達成できたか	3	多くの方及びPR大使にも参加いただき、参加者同士の交流及び普及を図ることができた。
		費用対効果	事業費に見合う成果・効果は得られたか	3	多くの方に参加いただき、白熱した大会を開催することが出来た。
課題		バトテニスの更なる普及のため、初めてやる方でも楽しめる工夫が必要である。			



市制施行50周年記念事業 実施報告書

事業実施課【文化・スポーツ振興課】

事業名		「日登美杯レスリング大会」事業			
目的		市制施行50周年を記念して、レスリングを通じて児童の心身の健やかな発達を目的とした大会を開催する。			
実施体制 (担当課・市民参画等)		文化・スポーツ振興課、日登美杯少年少女レスリング大会実行委員会			
事業費	令和3年度	予算額	総額:0千円		
		執行額	総額:0千円 主な費用:		
	令和4年度	予算額	総額:242千円		
		執行額	総額:231千円 主な費用:レスリング日登美杯補助金		
実施内容 (実績)		<p>1 日時・場所 令和4年9月3日(土) 午前10時10分開会式 午前11時試合開始 市民総合体育館メインアリーナ</p> <p>2 対象者・参加人数等 埼玉県、千葉県、神奈川県から99名が参加</p> <p>3 周知方法 ・東日本少年少女レスリング連盟に登録している団体へ案内 ・試合観戦については市HP、市広報</p> <p>4 具体的な内容 ・1～3年生(男女混合5人制)予選リーグ戦及び決勝トーナメント ・4～6年生(男子5人制):予選リーグ戦及び順位別リーグ戦 ・3～6年生(女子3人制):リーグ戦</p> <p>5 成果・効果 県外からも参加があったことで白熱した試合になり、子ども達の心身の発達及び参加者同士の交流を図れた。また保護者達も他県の参加者と交流することが出来た。</p>			
事業評価		評価項目	評価の視点	評価 (3段階)	評価理由
		目的達成度	当初の予定どおり事業の目的を達成できたか	3	県外からも多くの子供達に参加いただき、レスリングを通じて心身の発達及び交流を図れた。
		費用対効果	事業費に見合う成果・効果は得られたか	3	県外からも参加があったことで、白熱した大会となり子ども及び保護者の交流を図れ事業費に見合う成果を得られた。
課題					



市制施行50周年記念事業 実施報告書

事業実施課【文化・スポーツ振興課】

事業名		「ラケットテニス大会」事業			
目的		市制施行50周年を祝うとともに、入間地区が推進する「ラケットテニス」を普及するため、各地区で行っている方が集まる大会を開催する。			
実施体制 (担当課・市民参画等)		文化・スポーツ振興課、富士見市スポーツ推進委員			
事業費	令和3年度	予算額	総額:0千円		
		執行額	総額:0千円 主な費用:		
	令和4年度	予算額	総額:20千円		
		執行額	総額:21千円 主な費用:富士見市スポーツ推進委員連絡協議会補助金		
実施内容 (実績)		<p>1 日時・場所 令和4年8月7日(日) 午前9時15分開会式 午前9時40分試合開始 午後1時30分開会式 市民総合体育館メインアリーナ</p> <p>2 対象者・参加人数等 市民を含む富士見市近隣市町から20チーム89名が参加</p> <p>3 周知方法 市HP、市広報、過去参加チームへの案内</p> <p>4 具体的な内容 5チームによるリーグ戦(4リーグ)</p> <p>5 成果・効果 参加者の親睦を深めるとともに、ニュースポーツのラケットテニスの普及につながった</p>			
事業評価		評価項目	評価の視点	評価 (3段階)	評価理由
		目的達成度	当初の予定どおり事業の目的を達成できたか	2	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、内容を変更しての開催となったが、近隣からも多くの方が参加し、参加者同士の交流及び普及を図ることができた。
		費用対効果	事業費に見合う成果・効果は得られたか	2	近隣からも多くの方が参加し、白熱した大会を開催できたので、成果・効果は十分に得られた。
課題		予定チーム数より少なかったため、事業の周知方法を工夫する必要がある。			



市制施行50周年記念事業 実施報告書

事業実施課【文化・スポーツ振興課】

事業名		「スポーツチャレンジ2022」事業			
目的		レスリングやゴールボール等、さまざまなスポーツが体験できるイベントを開催し、市民のスポーツ振興、健康増進に寄与するとともに、市制施行50周年を周知する。			
実施体制 (担当課・市民参画等)		文化・スポーツ振興課、市民総合体育館指定管理者			
事業費	令和3年度	予算額	総額:0千円		
		執行額	総額:0千円 主な費用:		
	令和4年度	予算額	総額:0千円		
		執行額	総額:0千円(指定管理者自主事業のため) 主な費用:		
実施内容 (実績)		<p>1 日時・場所 令和4年10月10日(日) 午前9時から午後4時まで 市民総合体育館全館</p> <p>2 対象者・参加人数等 市民を含む富士見市近隣市町から347名が参加</p> <p>3 周知方法 市広報、体育館HP、館内掲示、折り込みチラシ「ばど」への掲載、近隣コンビニへの掲示依頼</p> <p>4 具体的な内容 <ul style="list-style-type: none"> ・キッズバスケットボールクリニック ・キッズレスリング体験 ・ゴールボール体験 ・セバタクロー体験 ・サウンドテーブルテニス体験 ・ポッチャ体験 ・輪投げ、ヨーヨーすくい ・ヤクルトによる栄養相談と講和 ・おれさがしゲーム ・キッチンカー2台 </p> <p>5 成果・効果 <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ体験をきっかけとして体育館の周知、利用促進を図ることができた。 ・スポーツ体験や健康講和を通じて市民のスポーツ活動推進及び健康増進を図ることができた。 ・ポッチャ、サウンドテーブルテニス、ゴールボールの体験を通じて障がい者スポーツの普及を図ることができた。 </p>			
事業評価		評価項目	評価の視点	評価 (3段階)	評価理由
		目的達成度	当初の予定どおり事業の目的を達成できたか	3	多くの方に参加いただき、体育館の利用促進及びスポーツ活動の推進を十分に図ることができた。
		費用対効果	事業費に見合う成果・効果は得られたか	2	一流選手から学ぶ機会や障がい者スポーツを市民の方に提供することでスポーツ活動の普及を図れた。
課題		当日参加可能な種目について、一度に体験できる人数等の運用方法の工夫が必要である。			



市制施行50周年記念事業 実施報告書

事業実施課【文化・スポーツ振興課】

事業名		「市制施行50周年記念式典シャバツ市長招待」事業			
目的		日程変更を行ったが市制施行50周年と本市とセルビア共和国シャバツ市との姉妹都市提携40周年を記念し、アレクサンダル・バイッチ市長はじめ6名の代表団を姉妹都市記念日である10月23日(日)に招待し、富士見ふるさと祭りへの参加や交流のある小学校への訪問をとおして、市民との交流を図るとともに、今後の姉妹都市交流の一層の充実を図ることを目的とする。			
実施体制 (担当課・市民参画等)		文化・スポーツ振興課及び富士見市国際友好協会(事務局:文化・スポーツ振興課)			
事業費	令和3年度	予算額	総額:0千円		
		執行額	総額:0千円 主な費用:		
	令和4年度	予算額	総額:1,724千円		
		執行額	総額:1,800千円 主な費用:旅行業務委託、記念植樹・プレート設置委託、通訳委託費		
実施内容 (実績)		<ol style="list-style-type: none"> 1 日時・場所 ・令和4年10月19日(水)から23日(日)の4泊5日間 2 対象者・参加人数等 ・ふるさと祭りや難波田城公園まつり等に参加し、多くの市民の方と交流することが出来た。 3 周知方法 ・広報富士見令和4年10月号に関連記事を掲載 ・令和4年9月から市ホームページにて関連記事を掲載 4 具体的な内容 ・10/21(金)針ヶ谷小学校訪問、市役所・キラリ☆ふじみにて歓迎セレモニー開催 ・10/22(土)富士見ふるさと祭り参加、キラリ☆ふじみ・中央図書館視察 ・10/23(日)難波田城公園まつり参加 5 成果・効果 ・富士見ふるさと祭りをはじめ多くのイベントに参加いただき市民との交流が図れたこと ・今後の両市の交流に関する確認書を取り交わしたこと 			
事業評価		評価項目	評価の視点	評価 (3段階)	評価理由
		目的達成度	当初の予定どおり事業の目的を達成できたか	3	当初の日程がコロナ禍により変更せざるを得なかったが、当初から予定していたイベントをすべて盛り込むことが出来、また、セルビア共和国大使の参加も実現し、両市の一層の親交が図れた。
		費用対効果	事業費に見合う成果・効果は得られたか	3	短期間での滞在とせざるを得なかったが、目的達成度にもあるように多くのイベントや懇親会を通じて両市の親交と市民交流が図れたことは予算以上の成果を得たと確信している。
課題		<ul style="list-style-type: none"> ・招待を実現するまでには多くの関係者との協議・調整・申請等が必要で予想以上に事務量があった。 ・海外から賓客招待の経験が乏しく、当初から予定していたスケジュールの変更も多くあり、予算の柔軟な執行が必要である。 ・歓迎夕食会への参加等、担当職員の経済的負担が大きく、これらの軽減が今後必要と考える。 			



○今後の交流に関する確認書署名



○記念植樹&プレート披露



○ふるさと祭りへの参加



○難波田城公園祭りへの参加



市制施行50周年記念事業 実施報告書

事業実施課【ふじみ野交流センター】

事業名		「開館20周年記念 勝瀬de縁日」事業			
目的		実行委員会で開催される勝瀬de縁日で、人々の魅力の発信及び特産物を紹介し、郷土愛を深めてもらい市制50周年、ふじみ野交流センター20周年を記念する			
実施体制 (担当課・市民参画等)		ふじみ野交流センター(事務局)、第24回勝瀬de縁日実行委員会			
事業費	令和3年度	予算額	総額:0千円		
		執行額	総額:0千円 主な費用:		
	令和4年度	予算額	総額:95千円		
		執行額	総額:34千円 主な費用:消耗品		
実施内容 (実績)		<p>1 日時・場所 令和4年9月3日(土)正午～午後3時 ふじみ野交流センター</p> <p>2 対象者・参加人数等 市民(親子)約500人が来場</p> <p>3 周知方法 <ul style="list-style-type: none"> ・広報富士見8月号に開催案内を掲載 ・市ホームページに開催案内及び笑顔の写真募集を掲載 ・勝瀬小学校、ふじみ野小学校全児童及び大井小学校一部児童にチラシ配布 ・勝瀬ふじみ野地域の市掲示板にポスター掲示 ・勝瀬deグルメ参加店舗にポスター掲示 </p> <p>4 具体的な内容 <ul style="list-style-type: none"> ・実行委員による遊びや模擬店の実施 ・笑顔の写真展を実施(展示パネル3枚) ・勝瀬deグルメ参加15店舗の「おいしいもの」展示(展示パネル2枚) ・勝瀬中学校生徒有志による遊びコーナーの実施 ・縁日開会前に「開館20周年記念式典」を実施 </p> <p>5 成果・効果 新型コロナウイルス感染症によりイベントの開催が制限される中、感染防止対策を十分に施し3年ぶりの開催となったが、予想を上回る参加があり、地域住民のイベント交流が図れた。 </p>			
事業評価		評価項目	評価の視点	評価 (3段階)	評価理由
		目的達成度	当初の予定どおり事業の目的を達成できたか	2	様々な制約の中でも実行委員会と協力して一定の成果を上げることができた。
		費用対効果	事業費に見合う成果・効果は得られたか	2	実行委員の知恵と工夫により最小限の費用で最大限の効果が得られた。
課題		勝瀬de縁日の2年間の中止により、実行委員会との協議が十分にとれず、事務局主導になってしまった。			

富士見市市制施行50周年記念・ふじみ野交流センター開館20周年記念
 笑顔あつまる第24回勝瀬de縁日

勝瀬de縁日

令和4年9月3日(土)
 正午(12時)～午後3時
 会場：ふじみ野交流センター

- ◆工作・遊びコーナー
- ◆お菓子などの模擬店
- ◆勝瀬deグルメの展示
- ◆笑顔の写真展
 人数制限があります
 食事はできません
 マスクをしてきてね
 できるだけ歩いてきましょう

主催：第24回勝瀬de縁日実行委員会、富士見市
 問合せ：富士見市立ふじみ野交流センター 電話049-261-5371

新型コロナウイルス感染症の感染防止にご協力ください
 入場記録のため、氏名等の記入が必要です



市制施行50周年記念事業 実施報告書

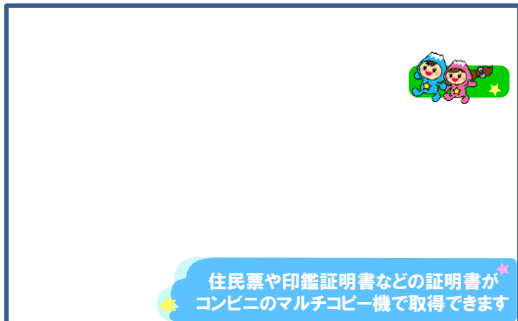
事業実施課【市民課】

事業名		「オリジナルマイナンバーカードケース作製」事業			
目的		50周年記念ロゴマーク入りのオリジナルマイナンバーカードケースを作製し、マイナンバーカードを使用する機会(交付、転入、本人確認時)に配布することで、市制施行50周年の周知と機運の醸成を図る。			
実施体制 (担当課・市民参画等)		市民課			
事業費	令和3年度	予算額	総額:242千円		
		執行額	総額:242千円 主な費用:50周年記念カードケース作製業務委託費用		
	令和4年度	予算額	総額:0千円		
		執行額	総額:0千円 主な費用:		
実施内容 (実績)		<p>1 日時・場所 配布日時:令和4年1月4日(火)から配布開始 配布場所:市民課、各出張所、保険年金課、税務課、収税課、子育て支援課、保育課、子ども未来応援センター、ICT推進課、福祉政策課、障がい福祉課、高齢者福祉課、健康増進センター</p> <p>2 カードケース配布対象者 マイナンバーカードの交付者、電子証明書の新規発行や更新者 マイナンバーカードを使用して住民異動された者、窓口でマイナンバーカードを使用して本人確認をされた者</p> <p>3 成果・効果 カードケースの配布により、マイナンバーカードを通じた富士見市50周年の周知や関心の向上ができた。</p>			
事業評価		評価項目	評価の視点	評価 (3段階)	評価理由
		目的達成度	当初の予定どおり事業の目的を達成できたか	3	配布時の反応もよく、記念ロゴのかわいらしさや50周年に対する強い関心を感じられた。
		費用対効果	事業費に見合う成果・効果は得られたか	2	年間を通じた配布枚数(20,000枚)を作成しているため、現段階での費用対効果に関する評価は、不明である。
課題					

表



裏



市制施行50周年記念事業 実施報告書

事業実施課【障がい福祉課】

事業名		「あいサポートフェスティバル」事業			
目的		市制50周年を祝い、障がい者への事業を推進するために下記を実施する。 (1)障害者文化芸術推進法に基づき、聞こえる人も聞こえない人も楽しめる手話狂言の舞台公演を実施し、障がい者の文化芸術活動を促進する。 (2)手話言語の普及啓発を進めるとともに、障がい者への理解を促進し、共生社会の実現を目指す。			
実施体制 (担当課・市民参画等)		障がい福祉課、富士見市社会福祉協議会、富士見市聴覚障害者の会、富士見手話サークル、富士見市音訳サークルかたりべ、あいサポートメッセンジャー			
事業費	令和3年度	予算額	総額:0千円		
		執行額	総額:0千円 主な費用:		
	令和4年度	予算額	総額:864千円		
		執行額	総額:1,022千円 主な費用:事業協力者謝礼		
実施内容 (実績)		<p>1 日時・場所 令和4年12月3日(土) 午前11時～午後3時30分 キラリ☆ふじみ メインホール及びマルチホール</p> <p>2 対象者・参加人数等 市民を含む354人が来場</p> <p>3 周知方法 ・広報10月号に掲載 ・令和4年10月1日に、市ホームページに掲載 ・令和4年10月上旬に本庁舎窓口、市内公共施設にチラシを設置。 市内小・中・特別支援学校児童・生徒にチラシを配布 ・市ツイッター、市掲示板で周知。</p> <p>4 具体的な内容 ・社会福祉法人トット基金の日本ろう者劇団・三宅狂言会による手話狂言の開催(舞台公演とワークショップ) ・市内福祉事業所及び特別支援学校の手作りの品(菓子、野菜、花、木工品等)の販売、ウエルシア薬局によるからだ測定会 ・あいサポート運動及びあいサポート企業団体のポスター展示等による普及啓発 ・視覚障がいの人の鑑賞サポート(音訳CD・点字資料の配布、国立能楽堂の触る模型展示、施設内エスコート)行う。</p> <p>5 成果・効果 ・障がいのある人が身近な場所で舞台を鑑賞し、文化芸術に触れることができた。 ・手話狂言の公演を通して、手話や聴覚障がいへの理解を深めることができた。 ・各種の情報保障を行うことで、聞こえない人と見えない人が、ひとつの事業を一緒に楽しむことができた。 ・福祉作業所の手作りの品の販売やあいサポート運動の周知を通して、障がいに対する理解を促進することができた。</p>			
事業評価		評価項目	評価の視点	評価 (3段階)	評価理由
		目的達成度	当初の予定どおり事業の目的を達成できたか	3	アンケートによると、「満足した」「手話に興味を持った」という感想が多数あった。
		費用対効果	事業費に見合う成果・効果は得られたか	3	舞台機構操作料など、予算を上回る支出があったが、来場者に満足してもらえる舞台公演を開催することができた。
課題		・コロナ禍のため、メインホールに参加者数400人を目標としていたところ、達成できなかったこと			

◆◆手話狂言◆◆



表情豊かな、日本ろう者劇団と三宅狂言会による手話狂言の舞台公演



ワークショップで観客も手話を体験



視覚障がい者の方に、能楽堂さわる模型の説明

◆◆あいサポマルシェ◆◆



あいサポート運動、あいサポート企業・団体についてPR



福祉事業所、富士見特別支援学校など市内7団体が手作り品を販売

市制施行50周年記念事業 実施報告書

事業実施課【 健康増進センター 】

事業名		「富士見市で結婚50年を迎えた金婚ご夫婦お祝い式」事業			
目的		富士見市で結婚50周年を迎えた方と金婚及び市制施行50周年を共に祝うことで、市民との一体感を得ることと、家族の大切さを感じる機会とする。			
実施体制 (担当課・市民参画等)		健康増進センター			
事業費	令和3年度	予算額	総額:515千円		
		執行額	総額:184千円 主な費用:結婚50周年記念品代		
	令和4年度	予算額	総額:200千円		
		執行額	総額:104千円 主な費用:消耗品費(花束代)		
実施内容 (実績)		<p>1 日時・場所 令和4年10月22日(土)午後1時～2時 キラリ☆ふじみ マルチホール</p> <p>2 対象者・参加人数等 対象者:令和4年4月10日から令和5年4月9日までの間に結婚50周年を迎えるご夫婦で、令和3年12月1日から令和4年1月7日に申し込みのあった30組 参加人数:23組44名(2組が1名で参加)</p> <p>3 周知方法 ・広報富士見令和3年12月号掲載、チラシ配布</p> <p>4 具体的な内容 ・令和4年4月10日市制施行50周年記念式典に3組招待し、市長から結婚インタビュー ・広報富士見11月号にいい夫婦の日特別インタビュー掲載 ・お祝い式にて賞状と花束、記念品の贈呈、フォトスポットで写真撮影</p> <p>5 成果・効果 ・インタビューを通して富士見市に住んでよかったことや、健康維持や夫婦円満の秘訣を伺い、市民に発信することができた。 ・お祝い式では、ともに祝い家族の大切さを感じる機会となった。また、これからも元気で過ごしていただきたいというメッセージを届けることができた。</p>			
事業評価		評価項目	評価の視点	評価 (3段階)	評価理由
		目的達成度	当初の予定どおり事業の目的を達成できたか	3	50周年を共にお祝いし、ご夫婦や家族の大切さを感じられる機会となったため。
		費用対効果	事業費に見合う成果・効果は得られたか	2	対象者数を50組までと想定したが、結果30組となり若干少なかったため。
課題					

○募集チラシ

市制施行50周年記念イベント

富士見市で結婚50周年を迎える

金婚夫婦を お祝いします

定員50組
応募多数の場合は
抽選となります

市制施行50周年にあわせ、結婚50周年を迎えるご夫婦の金婚を祝い、来年開催予定のイベントで賞状と記念品をお渡しします。

対象 市内在住で、令和4年4月10日（日）～令和5年4月9日（日）に結婚50周年を迎える夫婦

申込方法 12月1日（水）～令和4年1月7日（金）に、昭和47年4月10日・昭和48年4月9日に結婚したことがわかる書類（戸籍抄本（謄本）、結婚式の写真（日付の書かれたもの）など）を持参してください。
※持参が難しい場合は、お問合せください。


 富士見市市制施行50周年
 令和4年4月10日は市制施行記念日です。

＜お問合せ＞
健康増進センター ☎049-252-3771

記念式典（4/10）

○スライド



○当日の様子



お祝い式（10/22）

○次第

市制施行50周年記念事業

富士見市で結婚50周年を迎えた
金婚ご夫婦お祝い式

おめでとう

令和4年10月22日（土）午後1時

富士見市民文化会館
キラリ☆ふじみ

お祝い式
次第

- *開会のことば
- *富士見ファンファーレ
- *市制施行50周年記念映像
- *賞状&花束贈呈
- *市長お祝いのことば
- *記念品紹介
- *介護予防事業紹介
- *閉会のことば



○記念品・当日の様子



市制施行50周年記念事業 実施報告書

事業実施課【健康増進センター】

事業名		「健康歯っぴ〜ライフ☆シンポジウム」事業			
目的		市制50周年を記念して食生活・栄養をテーマに健康づくりについて楽しく学べる講演会を実施する			
実施体制 (担当課・市民参画等)		健康増進センター			
事業費	令和3年度	予算額	総額:0千円		
		執行額	総額:0千円 主な費用:		
	令和4年度	予算額	総額:542千円		
		執行額	総額:291千円 主な費用:講師謝礼、印刷製本費		
実施内容 (実績)		<p>1 日時・場所 令和4年10月22日(土)午前10時～午前11時 キラリ☆ふじみ マルチホール</p> <p>2 対象者・参加人数等 参加者:76名</p> <p>3 周知方法 広報ふじみ10月号広報、ホームページ掲載、ポスター掲示、チラシ配布</p> <p>4 具体的な内容 「健康歯っぴ〜ライフ☆シンポジウム」の開催 タニタ健康セミナー 今日から実践！ヘルシーレシピのコツ 講師:株式会社タニタヘルスリンク 管理栄養士</p> <p>ワークショップの代替として、参加者へ「いきいき健康&歯っぴ〜ライフ☆ふじみ」市民取組アンケートの実施</p> <p>5 成果・効果</p> <ul style="list-style-type: none"> 参加者へのアンケート結果で「とても分かりやすかった」や「気づきができてよかった」などの回答が多く、健康づくりのきっかけや日頃の生活習慣の見直しをする機会を提供することができた。 健康に関する著名な企業の講師を招き土曜日に開催したことで、働き盛り世代や子育て世代などの参加者も見られ、幅広い年齢層に対して学ぶ機会を提供できた。 			
事業評価		評価項目	評価の視点	評価 (3段階)	評価理由
		目的達成度	当初の予定どおり事業の目的を達成できたか	3	アンケートからも、「わかりやすい」などの回答が多く、食生活・栄養について、楽しく学べる機会の提供ができた。
		費用対効果	事業費に見合う成果・効果は得られたか	2	コロナ禍のため定員を100名に制限したが、参加者が定員に達しなかったため。
課題					

○チラシ

富士見市市制施行50周年記念事業

「健康歯っぴ～☆シンポジウム」



富士見市市制施行50周年

タニタ健康セミナー

今日から実践！ヘルシーレシピのコツ
～健康的な食習慣を身につけるために～

富士見市版健康マイレージ
事業にご参加の方は健康ラ
イフポイントがもらえます！
お使いの歩数計・スマートフ
ォンをご持参
ください。





本セミナーでは、タニタの社員食堂
におけるレシピづくりのコツのほか、
外食やコンビニでのメニュー選びの
ポイント、気をつけたい三つの「あ」
などについてご紹介します。
実践的なので、気軽に始められるヒ
ントが詰まっています。

日時

2022年10月22日(土)

10:00～11:00(受付 9:45～)

会場

**富士見市民文化会館キラリ☆ふじみ
マルチホール**

富士見市大字鶴橋1803番地1 TEL 049-268-7788

参加費

無料

手話通訳あります

対象

市内在住・在学・在勤の方
先着100名

講師

**株式会社タニタヘルスリンク
管理栄養士**

申込方法

9月20日(火)午前8時30分から
富士見市健康増進センターへ直接、電話、FAX
※市ホームページからも応募可



感染予防対策

座席間隔・検温・手指の消毒・換気・マスクの着用







【お問い合わせ先】<主催>

富士見市健康増進センター 健康づくり支援係
☎ 049-252-3771 FAX 049-255-3321



富士見市は国連持続可能な開発目標(SDG)を推進しています。

○当日の様子

79

市制施行50周年記念事業 実施報告書

事業実施課【環境課】

事業名		「富士見市の美しい自然環境写真コンテスト」事業			
目的		市制50周年を記念して後世に残して行きたい富士見市の美しい自然環境を市内外の多くの人へ発信するため、富士見市内における自然環境に関する写真を募集し、応募のあった中のうち優秀作品を選び、これらの作品を市内公共施設へ巡回で展示する『富士見市の美しい自然環境写真コンテスト』を開催する。			
実施体制 (担当課・市民参画等)		環境課			
事業費	令和3年度	予算額	総額:50千円		
		執行額	総額:50千円 主な費用:写真募集に係るポスター作成費用		
	令和4年度	予算額	総額:170千円		
		執行額	総額:141千円 主な費用:①写真応募等に対する謝礼、②写真プリント、③展示用額		
実施内容 (実績)		<p>1 日時・場所</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 令和4年4月15日(金)から8月15日(月)まで写真を募集 ・ 10月22日(土)開催の富士見ふるさと祭りにおいて、①入選者の表彰、②入選作品10点による写真展を開催 ・ 11月1日(火)午後から7日(月)午前中まで、ピアザ☆ふじみにおいて、入選作品10点による写真展を開催 ・ 11月8日(火)午後から14日(月)午前中まで、本庁舎2階において、入選作品10点による写真展を開催 ・ 11月22日(火)午後から30日(水)午前中まで、南畑公民館(南畑ぎやらりい)において、入選作品10点による写真展を開催 ・ 12月1日(木)午後から8日(木)午前中まで、針ヶ谷コミュニティセンターにおいて、入選作品10点による写真展を開催 ・ 令和5年1月12日(木)午後から25日(水)午前中まで、難波田城資料館において、入選作品10点による写真展を開催 ・ 令和5年1月26日(木曜日)午後から2月3日(金曜日)午前中まで、水谷東公民館において、入選作品10点による写真展を開催 ・ 2月7日(火曜日)午後から2月16日(木曜日)午前中まで、水谷公民館において、入選作品10点による写真展を開催 ・ 3月15日(水曜日)から3月22日(水曜日)午前中まで、鶴瀬西交流センターにおいて、入選作品10点による写真展を開催 <p>2 対象者・参加人数等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 応募人数:26名、応募点数:42点 ・ 投票人数:144名 <p>3 周知方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 令和4年4月から市ホームページにて写真を募集 ・ 広報富士見4月号に写真の募集記事を掲載 ・ 市内12公共施設に写真の募集ポスターを掲示 ・ 市内6団体の写真クラブのうち5団体の代表者のご自宅を訪問し、事業の趣旨説明書並びに募集に係るポスターを提示のうえ、クラブ員各位の応募を依頼 <p>4 具体的な内容</p> <p>後世に残したい富士見市の自然環境の写真を募集し、応募のあった中から優秀作品を選定し表彰するとともに、市内公共施設において写真展を開催する。</p> <p>5 成果・効果</p> <p>応募のあった作品をホームページ上に公開したことで、富士見市の自然を市内外の多くの方々に周知することができた。</p>			
事業評価		評価項目	評価の視点	評価 (3段階)	評価理由
		目的達成度	当初の予定どおり事業の目的を達成できたか	3	富士見市の美しい自然環境を市内外に発信することができた。
		費用対効果	事業費に見合う成果・効果は得られたか	3	少ない費用で富士見市の美しい自然環境を市内外に発信することができた。
課題					

ふるさと祭りでの表彰・展示



南畑公民館での展示



市制施行50周年記念事業 実施報告書

事業実施課【農業振興課】

事業名		「東大久保菜の花フェスタ」事業			
目的		水稲栽培に菜の花緑肥による環境負荷低減効果と景観形成として、平成21年度より行なってきた「東大久保菜の花フェスタ」を市制施行50周年記念事業として、例年より規模を拡大して市民との交流、地産地消の推進と農業の振興を図る。			
実施体制 (担当課・市民参画等)		東大久保菜の花まつり実行委員会(農地の保全、イベント運営等全般)、農業振興課(補助金交付・周知協力)			
事業費	令和3年度	予算額	総額:0千円		
		執行額	総額:0千円 主な費用:		
	令和4年度	予算額	総額:200千円		
		執行額	総額:200千円 主な費用:地産地消補助金		
実施内容 (実績)		<p>1 日時・場所 令和4年4月9日(土)「東大久保菜の花フェスタ2022」 新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況によりフェスタ中止 (令和4年2月15日実行委員会において決定) 菜の花の無料摘み取り実施 3月10日(木)～4月10日(日)</p> <p>令和5年4月9日(日)「東大久保菜の花フェスタ2023」 午前9時～午後2時 東大久保地内 菜の花の無料摘み取り実施 3月19日(日)～4月9日(日)</p> <p>2 対象者・参加人数等 「東大久保菜の花フェスタ2023」…市民を含む約4,000人が来場</p> <p>3 周知方法 ・広報「富士見」令和4年3月号・令和5年4月号掲載 ・チラシを広報発行にあわせて南畑地域や市内公共施設等へ配布 ・市ホームページへ掲載 広報「富士見」令和4年3月号発行にあわせて、令和4年2月から掲載 広報「富士見」令和5年3月号発行にあわせて、令和5年3月から掲載</p> <p>4 具体的な内容 「東大久保菜の花フェスタ2023」 ・菜の花の無料摘み取り ・模擬店、農産物等の販売 ・農耕機械試乗体験、消防車展示 ・ちんどん屋によるパフォーマンス ※熱気球係留フライト体験は強風のため中止</p> <p>5 成果・効果 菜の花無料摘み取りは、市民をはじめ市外からも参加者が多く、環境に配慮した農業や地域の米生産への取り組みに対する理解を深め、農地や景観の保全への関心を高めた。</p>			
事業評価		評価項目	評価の視点	評価 (3段階)	評価理由
		目的達成度	当初の予定どおり事業の目的を達成できたか	3	菜の花を活用した緑肥による米づくりとともに、農地や景観の保全への関心を高めるとともに、富士見市の地産地消の推進に寄与した。
		費用対効果	事業費に見合う成果・効果は得られたか	3	実行委員会において、地域の農業者や住民が協力しあい、事業を計画的に実施した。
課題		燃油価格や種苗費等の高騰からイベント開催経費が増えている。 地域の農業者の高齢化がすすみ、実行委員会への参加者が減少する恐れがある。			

○チラシ



○当日の様子



市制施行50周年記念事業 実施報告書

事業実施課【 協働推進課・産業経済課 】

事業名		「花火大会」事業			
目的		次の50年の主役となる子どもたちに向けたイベントとなるよう、市内2か所の公園を会場にして、町会長連合会・商工会・市の3者協働で花火大会を開催することにより、地域から盛り上げていくために開催する。			
実施体制 (担当課・市民参画等)		(事務局)協働推進課・産業経済課、富士見市市制施行50周年記念花火大会実行委員会(イベント運営)			
事業費	令和3年度	予算額	総額:0千円		
		執行額	総額:0千円		
	令和4年度	予算額	総額:10,000千円		
		執行額	総額:9,221千円 主な費用:富士見市市制施行50周年記念花火大会実行委員会補助金		
実施内容 (実績)		<p>1 日時・場所 令和5年2月25日(土) 午後7時00分～午後7時30分 富士見市第2運動公園、文化の杜公園</p> <p>2 対象者・参加人数等 事前に申込をされた市内小中学生(小学生は保護者同伴) 富士見市第2運動公園1,379人、文化の杜公園755人</p> <p>3 周知方法 ・令和4年12月から市ホームページにてイベント開催関連記事を掲載 ・広報富士見11月号、1月号、2月号でイベント開催関連記事を掲載 ・令和5年2月に市Twitter・Facebook・メールマガジン・LINE及びテレ玉データサービスにてイベントの関連情報を発信 ・学校を通じて観覧申込書の配布・取りまとめを実施</p> <p>4 具体的な内容 ・ミュージック花火の実施(2会場同時に15分間程度、音楽に合わせて、打上げ花火、小型煙火、仕掛け花火など合計1,000発程度の花火を実施) ・会場に来られない市民の方のため、メイン会場である第2運動公園のインターネット中継を実施し、その後、1か月間第2運動公園、文化の杜公園のアーカイブ放送を実施。ライブ視聴回数4,205回。</p> <p>5 成果・効果 富士見市町会長連合会・富士見市商工会青年部・富士見市の3者の協働で市内2か所の公園で同時に花火大会を開催し、次の50年の主役となる子どもたちに向けたイベントとして実施でき、地域から盛り上げることができた。</p>			
事業評価		評価項目	評価の視点	評価 (3段階)	評価理由
		目的達成度	当初の予定どおり事業の目的を達成できたか	2	安全性の確保のため、当初の日程・会場を変更したが、多くの小中学生に会場いただき、花火大会を通して地域から盛り上げることができた。
		費用対効果	事業費に見合う成果・効果は得られたか	2	次の50年の主役となる子どもたちの市への愛着の醸成につなげることができた。
課題		安全性を確保するためには、会場の選択、交通手段の確保、雑踏警備など解決すべき課題が多くある。			

令和5年2月25日(土曜日)午後7時から、ミュージック花火が第2運動公園と文化の杜公園の2会場で同時に開催されました。



第2運動公園



文化の杜公園

市制施行50周年記念事業 実施報告書

事業実施課【都市計画課】

事業名		「びん沼自然公園リニューアル記念パークゴルフ大会」事業			
目的		市制施行50周年を記念するとともに新たにオープンしたパークゴルフをPRするため開催			
実施体制 (担当課・市民参画等)		びん沼自然公園 指定管理者(びん沼アクティブネイチャーパークJV)			
事業費	令和4年度	予算額	総額:0千円		
		執行額	総額:0千円 主な費用:		
	令和5年度	予算額	総額:0千円		
		執行額	総額:0千円(指定管理者自主事業) 主な費用:		
実施内容 (実績)		<p>1 日時・場所 令和5年10月29日(日) 午前9時00分から正午(受付:8時30分から) びん沼自然公園 パークゴルフ場</p> <p>2 対象者・参加人数等 市内在住、在勤、在学で小学4年生以上 参加者71名</p> <p>3 周知方法 ・広報富士見10月号へイベント開催記事を掲載 ・市ホームページ、Twitter、公式LINEにて参加者募集を1回発信 ・イベントポスター及びチラシを市内20公共施設に掲示、配架 ・びん沼自然公園ホームページ、Instagramにて参加者募集を配信 ・公園管理棟 ・公民館等で行われている、高齢者学級へ出向き、声かけ</p> <p>4 具体的な内容 ・参加者を4人1組のグループに分け、18ホール(ふわっぴー・けやきコース)をプレイ ・ストロークプレイにて、部門別(男性・女性・小中学生の3部)に成績上位者を表彰</p> <p>5 成果・効果 ・パークゴルフ経験者及び初めて体験する方に、パークゴルフの楽しさを知っていただくとともに、リニューアルしたびん沼自然公園のPRができた。</p>			
事業評価		評価項目	評価の視点	評価 (3段階)	評価理由
		目的達成度	当初の予定どおり事業の目的を達成できたか	2	同日に、近隣地域において類似のスポーツイベントが開催されており、想定していた参加人数(定員100名)に達しなかったため。
		費用対効果	事業費に見合う成果・効果は得られたか	2	指定管理者の自主事業のため、費用対効果は示すことができないため。
課題		<p>・指定管理者の自主事業による大会開催であったため、開催時期が遅れてしまったこと。 ・大会参加費が高額であるとの意見が複数あったこと。</p>			

チラシ



びん沼アクティブ
ネイチャーパークしく主催




10月29日(日)
※雨天中止
9:00～12:00
(受付開始 8:30～)

**第二回 びん沼自然公園
パークゴルフ大会**

会場 びん沼自然公園パークゴルフ場

参加資格 富士見市内在住、在勤、在学で
小学4年生以上の方
※小学生は保護者同伴

定員 100名(申込順)

参加費 一般 1,000円 / 高校生以下 500円
レンタルクラブ・ボール 各100円
※レンタル代は参加費と別料金になります。
※70歳以上の方はレンタル代無料。

競技方法 4人1組のグループ分けをし、
18ホールをプレーしていただきます。
※グループ分けは、参加者のパークゴルフ経験を
考慮して行います。
※小学生とその保護者は同じグループとなります。

お申し込み 10/1(日)～10/22(日)

- ・ 申込用紙を管理棟受付窓口、
又はFAXにて提出(FAX 049-257-8710)
- ・ 電話 (049-257-8484)
※管理棟受付窓口・電話受付時間 9:30-17:00
- ・ 専用フォーム(10/1 HPにて公開)

HPはこちらから



富士見市びん沼自然公園 埼玉県富士見市大字東大久保3664-1

○競技中の様子



○4人1組でコースを回りました



市制施行50周年記念事業 実施報告書

事業実施課【 まちづくり推進課、シティプロモーション課 】

事業名		「びん沼自然公園開園式」事業			
目的		新たな「地域の魅力向上・活性化」の拠点となるびん沼自然公園のリニューアルオープンを、市制施行50周年と併せて盛大に祝うため実施するもの。			
実施体制 (担当課・市民参画等)		担当:都市整備部まちづくり推進課、政策財務部シティープロモーション課 応援:総務部秘書広報課、協働推進部ふじみ野交流センター、経済環境部農業振興課、都市整備部都市計画課、都市整備部鶴瀬駅周辺地区整備事務所、建設部道路治水課			
事業費	令和4年度	予算額	総額:1,964千円		
		執行額	総額:1,641千円 主な費用:会場設営・式典補助委託		
	令和5年度	予算額	総額:842千円		
		執行額	総額:812千円 主な費用:事業協力者謝礼、会場撤去等業務委託		
実施内容 (実績)		<p>1 日時・場所 令和5年4月1日(土)10:00~14:30 びん沼自然公園(富士見市大字東大久保3664番1外)</p> <p>2 対象者・参加人数等 来賓・招待者は121名中94名出席(出席内訳:来賓9名、招待者85名) その他市内外を問わず多くの一般客が来場</p> <p>3 周知方法 ・令和5年2月16日から市ホームページに特設ページを公開 ・市の各種SNS(Twitter、Facebook、LINE、Instagram)にて情報を発信 ・市広報令和5年3月号にてリニューアルオープンイベント開催記事を掲載 ・ポスター及びチラシを市内各所に掲示、配布 (市内3駅、ららぽーと富士見、市内金融機関、郵便局、出先機関、図書館、公民館、小中特別支援学校、保育園、幼稚園、埼玉県関係課、市役所庁舎内、市内掲示板) ・デジタルサイネージ(市役所1F、鶴瀬駅前)にポスター画像を表示</p> <p>4 具体的な内容 ＜当日プログラム＞ 10:00~11:15 開園記念式典、 テープカット&富士見ファンファーレ、パークゴルフ始球式 11:30~13:00 市PR大使イベント(トークライブ、園内巡り) 13:30~14:30 ミニライブイベント(市民吹奏楽団、富士見高校合唱部)</p> <p>5 成果・効果 当日は多くの来場者が訪れ大いに賑わっていたことから、リニューアルした公園を存分にPRすることができた。</p>			
事業評価		評価項目	評価の視点	評価 (3段階)	評価理由
		目的達成度	当初の予定どおり事業の目的を達成できたか	2	公園整備の工期延長に伴い、当初予定していた時期(令和4年度)に実施することはできなかったが、当日は大変多くの方々にご来場いただき盛会のうちに終了することができ、翌日以降も多くの利用客で賑わっている様子から、開園式そのものの目標については概ね達成することができた。
課題		費用対効果	事業費に見合う成果・効果は得られたか	2	公園管理施設の備品を最大限に活用し、また、指定管理者と連携して準備に取り組んだことで、概ね予定どおりの成果・効果が得られた。
		<p>(1)確認不足による当日のイレギュラー 各方面と詳細な内容を確認するための時間が十分に確保できなかったことから、イベント中のセットにおいて予定通りでない部分があった。</p> <p>(2)ポスターの問い合わせ先 令和5年度以降、当公園の所管課が都市計画課に変更となることを見据え、ポスター作成時点では「記載する電話番号は代表番号とし、令和5年度以降は交換にて都市計画課へ転送することに対応する。」と整理したものの、市民感情等を改めて考慮した結果、「まちづくり推進課」の記載を「都市計画課」に訂正(ラベルシール貼付)することとなった。</p>			

〇チラシ

富士見市

びん沼

自然公園

リニューアル

OPEN!!

オープニング



富士山が見える展望台・複合遊具

大人も子どももみんなで楽しい♪ 遊んで・食べて・自然を満喫できる公園がリニューアルオープンします！

手ぶらでキャンプ・BBQができる！

キャンプ・BBQ場

カフェでくつろげる♪

カフェ

誰でも楽しめる♪

パークゴルフ場

びん沼自然公園リニューアルオープンイベント（開園記念式典）

10:00~ 開園記念式典

- 富士見ファンファーレ&テープカット式
- パークゴルフ始球式

11:30~ 記念イベント

- 富士見市PR大使イベント（トークライブ他）

4/1は
グルメブース
もあります！

出演
予定

板倉 俊之さん
(富士見市 PR大使)



下川原 リサさん
(富士見市 PR大使)



お笑い芸人「天狗」



富士見市役所 まちづくり推進課

049-251-2711

富士見市は持続可能な開発目標（SDGs）を推進しています。



〇式典



〇PR大使イベント



市制施行50周年記念事業 実施報告書

事業実施課【 まちづくり推進課 】

事業名		「市の木 けやき植樹」事業			
目的		市制施行50周年を記念し、「市の木 けやき」を、人が集いにぎわう新たな活動拠点「びん沼自然公園」にシンボルツリーとして植樹するもの。			
実施体制 (担当課・市民参画等)		担当:都市整備部まちづくり推進課			
事業費	令和4年度	予算額	総額:89千円		
		執行額	総額:88千円 主な費用:植樹プレート設置業務委託料		
	令和5年度	予算額	総額:0千円		
		執行額	総額:0千円 主な費用:		
実施内容 (実績)		<p>1 日時・場所 令和5年3月29日(水)11:00~11:15 びん沼自然公園(富士見市大字東大久保3664番1外)</p> <p>2 対象者・参加人数等 市長、副市長、教育長による植樹式を実施 ※当日は内覧会を実施していたため、見学する一般客あり</p> <p>3 周知方法 ・市ホームページにて実施したことを写真とともにお知らせ</p> <p>4 具体的な内容 ・植樹の作業の写真撮影(市長) ・記念写真撮影(市長、副市長、教育長)</p> <p>5 成果・効果 市民から募集したアイデアを基に事業化したことで、市民目線の市制施行50周年を記念するもののひとつを形にすることができた。</p>			
事業評価		評価項目	評価の視点	評価 (3段階)	評価理由
		目的達成度	当初の予定どおり事業の目的を達成できたか	2	工期延期に伴い、開園式とは別に実施することになったものの、記念植樹そのものの目標は概ね達成できた。
		費用対効果	事業費に見合う成果・効果は得られたか	2	市内に設置されている同種のプレートと遜色ない品質のものが設置され、無事記念植樹を行うことができ、予定どおりの成果・効果が得られた。
課題					

(1) 植樹プレート



(2) 記念植樹式



市制施行50周年記念事業 実施報告書

事業実施課【水道課】

事業名		「鶴瀬西配水場見学」事業																		
目的		市制50周年を記念して公共施設として特徴ある建物から富士見市の眺望を堪能するとともに、水道事業への関心を持ってもらうため、見学会を開催する。																		
実施体制 (担当課・市民参画等)		水道課単独事業																		
事業費	令和3年度	予算額	総額:0千円																	
		執行額	総額:23千円(水道企業会計) 主な費用:非常用飲料水袋(防災用備蓄袋)50周年記念用																	
	令和4年度	予算額	総額:129千円(水道企業会計)																	
		執行額	総額:71千円(水道企業会計) 主な費用:委託料(保菌検査)、保険料、通信運搬費																	
実施内容 (実績)		<p>1 日時・場所 令和4年10月29日(土)第1部 9:30~11:15、第2部 13:30~15:30 鶴瀬西配水場</p> <p>2 対象者・参加人数等 対象者:市内在住・在勤・在学を対象。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>午前</th> <th>午後</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>応募人数</td> <td>230人</td> <td>119人</td> <td>349人</td> </tr> <tr> <td>当選人数</td> <td>28人</td> <td>26人</td> <td>54人</td> </tr> <tr> <td>参加人数</td> <td>17人</td> <td>20人</td> <td>37人</td> </tr> </tbody> </table> <p>3 周知方法 ホームページに開催記事掲載(6月28日) 広報富士見 8月号に募集記事掲載 ポスター、応募用紙を13公共施設に掲示 市Twitterに1回発信(8月1日)</p> <p>4 具体的な内容 鶴瀬西配水場及び市の水道施設の概要説明 抽選会(50周年記念ミニボトル 各回 5個) 展望エリアより眺望を堪能 給水車体験 ふわっぴーと写真撮影</p> <p>5 成果・効果 普段開放していない施設に入ることができたため、アンケートを記入した全ての方より「楽しかった」と回答をいただきました。 数名の方は、鶴瀬西配水場を水道施設であることを知らなかったが、今見学会を通し水道事業への関心を持つ様になった等成果を得られたと考えている。</p>				午前	午後	合計	応募人数	230人	119人	349人	当選人数	28人	26人	54人	参加人数	17人	20人	37人
	午前	午後	合計																	
応募人数	230人	119人	349人																	
当選人数	28人	26人	54人																	
参加人数	17人	20人	37人																	
事業評価			評価の視点	評価 (3段階)	評価理由															
		目的達成度	当初の予定どおり事業の目的を達成できたか	3	多くの参加者が満足した															
		費用対効果	事業費に見合う成果・効果は得られたか	2	見学会施設ではないため、見学会を常時開催するのは困難である。また、開催する際は、保菌検査が必要となる。															
課題		<p>天候に左右される事業である。 予想をはるかに上回る応募があり抽選を行い、当選者には水道施設のため保菌検査の提出をお願いしましたが、保菌検査を提出しない方、また都合等により参加できない方がおり、予定人数(当選人数)を下回ることとなった。 なお、見学施設ではないため見学会を常時開催することは困難と考える。</p>																		

秋晴れの10月29日(土曜日)、特徴的な建物である鶴瀬西配水場の見学会を実施しました。



告知ポスター



当日の配布資料



星野市長の挨拶



らせん階段



地上38メートルからの眺望



給水車体験

市制施行50周年記念事業 実施報告書

事業実施課【生涯学習課】

事業名		「図書館まつり」事業			
目的		幅広い世代に対して図書館に親しんでもらうと共に市制施行50周年をPRする。			
実施体制 (担当課・市民参画等)		中央図書館・生涯学習課共催			
事業費	令和3年度	予算額	総額:0千円		
		執行額	総額:0千円 主な費用:		
	令和4年度	予算額	総額:175千円		
		執行額	総額:144千円 主な費用:講師謝礼負担金、タイムカプセル文字貼付費、タイムカプセルガス注入費		
実施内容 (実績)		<p>1 日時・場所 令和4年11月13日(日) 午前9時00分～午後4時30分 中央図書館及び文化の杜公園</p> <p>2 対象者・参加人数等 市民を含む約1,900人が来場</p> <p>3 周知方法 図書館ホームページ、ポスター、チラシ、広報「富士見」、市公式LINE</p> <p>4 具体的な内容 子ども読書コンクール表彰式、ビデオで振り返る富士見の50年上映、おそとでおはなしかい、としょかんツアー、チェロとピアノのコンサート、ほうき作り・凧作りの実演、渋谷定輔資料展示などの各種イベントのほか、50周年記念として以下の事業を実施した。 ・タイムカプセル開封式・封入式 開封式では、平成6年の中央図書館開館時に設置されたタイムカプセルを開封し、教育長、議長、市民代表の方に当時の手紙を読んでもらった。 封入式では、「2042年へのメッセージ」として市民から募集した手紙約220通をタイムカプセルに封入した。 ・絵本作家とよたかずひこさん 親子講演会 「ももんちゃん あそぼう」シリーズで著名な絵本作家 とよたかずひこさんによる親子講演会。絵本や紙芝居の読み聞かせを中心に、作品の制作秘話などの貴重なお話があった。</p> <p>5 成果・効果 タイムカプセル事業は、市制施行50周年をPRするとともに、封入するメッセージを広く市民から募集することで、普段図書館を利用しない方にも図書館を訪れてもらうきっかけを作ることができた。 親子講演会は、作者自らの楽しい読み聞かせや、絵本に関する貴重なお話しを通じて、親子で本に親しむことの楽しさや大切さを伝えることができた。</p>			
事業評価		評価項目	評価の視点	評価 (3段階)	評価理由
		目的達成度	当初の予定どおり事業の目的を達成できたか	3	3年ぶりの図書館まつりで図書館に足が遠のいていた人達、初めて来館する人達に図書館の認識を深めてもらった。
		費用対効果	事業費に見合う成果・効果は得られたか	3	予算内で講師をお呼びすることができ、参加した親子にとっても好評だった。
課題					

タイムカプセル開封式



タイムカプセル封入式



絵本作家とよたかずひこさん親子講演会



子ども読書コンクール表彰式



おそとでおはなしかい



市制施行50周年記念事業 実施報告書

事業実施課【生涯学習課】

事業名		「子ども大学☆ふじみ第10期記念」事業			
目的		市制施行50周年と同時に第10期を迎えるため、冠事業とすることで事業を広くPRすることに加え、次の3つを目的として特別講義を実施する。 ○子ども達が将来について考えるきっかけづくりの講座として ○郷土愛を育む講座として ○家族のきずなを深める講座として また通常講義の一つとして、市民提案アイデアの「一日市長体験・子ども市議会」を受け、「開会☆子ども市議会～市役所と市議会のしゅみを学ぼう！～」を実施する。			
実施体制 (担当課・市民参画等)		子ども大学ふじみ実行委員会(企画・運営)、生涯学習課(事務局)			
事業費	令和3年度	予算額	総額:0千円		
		執行額	総額:0千円 主な費用:		
	令和4年度	予算額	総額:920千円 ※子ども大学ふじみ開催事業補助金920千円の内580千円、残り340千円は通常講義予算 ※開会☆子ども市議会は通常講義予算340千円より支出		
		執行額	総額:810千円 主な費用:子ども大学ふじみ開催事業補助金(講師謝礼、会場使用料)		
実施内容 (実績)		<p>1 日時・場所 特別記念講演:令和4年8月6日(土)午後1時～(開場:午後0時30分) キラリ☆ふじみメインホール 開会☆子ども市議会:令和4年8月10日(水)午前9時～正午 富士見市役所 ※全7日間の日程の内、5日目の講義として実施</p> <p>2 対象者・参加人数等 特別記念講演:市内在住、在勤、在学の方、173人 開会☆子ども市議会:第10期子ども大学☆ふじみ受講者40人の内の32人 ※第10期子ども大学☆ふじみは市内在住、在学の小学校4～6年生対象</p> <p>3 周知方法 特別記念講演:広報「富士見」、ホームページ、チラシ、ツイッター、スマイルナビ 開会☆子ども市議会:広報「富士見」、ホームページ、チラシ</p> <p>4 具体的な内容 特別記念講演 :ディズニーを通じたキャリアデザインと、夢をかなえることをテーマとした体験型の講演会。「学び」の先にある将来について考え、夢をかなえるために実践すべきことはなにかを学ぶ。 開会☆子ども市議会 :市長・議長による講義、市長室・議長室見学、市議会体験を通して市役所と市議会のしゅみを学ぶ。</p> <p>5 成果・効果 特別記念講演では、子ども達になぜ「学び」が必要なのか意識してもらうこと、また、「学び」の先にある将来を考えるきっかけをつくることができました。また、保護者の方にも参加いただくことで、講演の内容を家庭で共有し話し合う機会を提供するとともに、大人に対しても生涯に渡って主体的に学ぶ姿勢の重要性を伝えることができたため、自由な学びによる生きがいづくりの推進が期待される。 開会☆子ども市議会では、普段学校では学べないことを学び、体験することで、子ども達の知的好奇心を育み、学ぶ楽しさを感じてもらった。また、学びを深めることの充実感を知ってもらうことで、学校教育の中だけではなく、生涯に渡って主体的に学ぶ素地を養うことができ、自由な学びによる生きがいづくりの推進が期待できる。</p>			
事業評価		評価項目	評価の視点	評価 (3段階)	評価理由
		目的達成度	当初の予定どおり事業の目的を達成できたか	3	各講義とも、目的に合う講義内容を講師に展開していただくことができ、参加者の高い関心を得た。
		費用対効果	事業費に見合う成果・効果は得られたか	2	特別記念講演については、コロナ禍の中、多くの市民の方に参加いただけた。子ども市議会は、32人中27人が「楽しかった」とアンケート回答しており、高い満足度を得た。
課題		特別記念講演:子ども大学☆ふじみ、子どもスポーツ大学☆ふじみ、子ども文化芸術大学☆ふじみの参加希望者の内、当初は89人が特別講演にも参加を希望していたが、実際に申し込みがあったのは21人と非常に少なかった。通知のタイミング等に工夫が必要。			

特別記念講演「夢をかなえる3つの魔法～未来のためのキャリアデザイン～」



ポスター



大島 崇央 先生



第1部「6つの仕事体験」



第2部「未来のためにできること」



夢をかなえる3つの魔法



大島先生へ質問

「開会☆子ども市議会～市役所と市議会のしくみを学ぼう！～」



講義「市長のおしごと」



講義「市議会議員のおしごと」



市長室見学



議長室見学



子ども市議会の開会



子ども部長による答弁

市制施行50周年記念事業 実施報告書

事業実施課【学校教育課】

事業名		「私たちの未来、50年後の富士見市 作品展」事業			
目的		市制施行50周年を記念し、富士見市在住の児童生徒が、今後50年でどのような市になるか想像し、未来の富士見市を描いた絵や作った立体作品を募集、展示することで、富士見市の未来に対する関心を高めることを目的とする。			
実施体制 (担当課・市民参画等)		学校教育課 教育相談室 市内小・中・特別支援学校			
事業費	令和3年度	予算額	総額:0千円		
		執行額	総額:0千円 主な費用:		
	令和4年度	予算額	総額:626千円		
		執行額	総額:215千円 主な費用:会場使用料、参加賞、賞品		
実施内容 (実績)		<p>1 日時・場所 令和4年10月15日(土)～17日(月) キラリ☆ふじみ 展示・会議室</p> <p>2 対象者・参加人数等 富士見市立小・中・特別支援学校に在籍する児童生徒 ・応募数:1,226作品 ・出品数:74作品 (各学校の校内選考を経て絵画50点、立体作品24点を出品) ・作品展観覧者:252名</p> <p>3 周知方法 作品募集:各学校へ作品募集の通知 作品展案内:各学校へのポスター配布 及び 広報「ふじみ」への掲載</p> <p>4 具体的な内容 ・テーマは「私たちの未来(50年後の富士見市)」とし、夏休み中の課題、授業の一環として市内小・中・特別支援学校へ50年後の未来を想像した作品(絵画・立体作品)を募集。 ・校内選考を経て、各学校から絵画・立体作品を各学年1点ずつ代表出品。 ・児童生徒の作品を展示。</p> <p>5 成果・効果 ・50年後の富士見市への期待や思いを表現した作品が多数応募された。 ・児童生徒にとって郷土への興味関心が高まるとともに、観覧者の方たちも児童生徒が作った作品を観覧し、50年後の富士見市に思いを馳せることができた。 ・50周年記念式典で使用する予定だった富士見市のマスコットキャラクターグッズを、各賞で活用することができた。(ステンレスボトル・エコバック)</p>			
事業評価		評価項目	評価の視点	評価 (3段階)	評価理由
		目的達成度	当初の予定どおり事業の目的を達成できたか	2	概ね達成することができたが、作品展の周知方法や審査方法については、今後検討が必要である。
		費用対効果	事業費に見合う成果・効果は得られたか	2	当初想定していた予算よりも、低い価格で実施することができた。
課題		<p>・作品展で終わらせるのではなく、冊子等を作成して、各学校や参加者に配布することができれば良かった。</p> <p>・学校ごとに取組状況が異なったため、作品募集の段階で周知を広く回れると良かった。</p>			

「私たちの未来、50年後の富士見市作品展」

令和4年10月15日（土）～17日（月）

キラリ☆ふじみ展示・会議室

市制施行50周年を記念して、市内児童生徒が夏休み中に絵画や立体作品で、50年後の富士見市を表現した作品を展示しました。

市長賞作品



教育長賞作品



展示・会議室

市制施行50周年記念事業 実施報告書

事業実施課【学校教育課】

事業名		「うたごえフェスタ」事業			
目的		(1)各学校における合唱活動の交流を通して、富士見市の音楽教育の質の向上を目指す。 (2)合唱活動を通して芸術に親しみ、豊かな感性をもつ児童・生徒を育成する。 (3)市制施行50周年の機運醸成			
実施体制 (担当課・市民参画等)		うたごえフェスタ実行委員会			
事業費	令和3年度	予算額	総額:0千円		
		執行額	総額:0千円 主な費用:		
	令和4年度	予算額	総額:200千円		
		執行額	総額:200千円 主な費用:文化芸術事業補助金		
実施内容 (実績)		<p>1 日時・場所 日時:令和4年12月4日(日) 会場:キラリ☆ふじみ(メインホール)</p> <p>2 対象者・参加人数等 ・市内小・中学校の合唱部児童生徒および保護者600名</p> <p>3 周知方法 ・出演者を通じた保護者案内</p> <p>4 具体的な内容 ・合唱発表 合同合唱では、富士見市市制50周年を記念して作られた「富士見市50周年バースデーソング」を披露した。</p> <p>5 成果・効果 ・音楽活動の推進と相互交流という目的を果たすことができたと考えている。 また、市制施行50周年バースデーソングを歌うことで、特色を出すことができた。</p>			
事業評価		評価項目	評価の視点	評価 (3段階)	評価理由
		目的達成度	当初の予定どおり事業の目的を達成できたか	2	新型コロナウイルス感染症対応のため、合同合唱への参加等、一部人数制限等を設けたが、合唱活動を通して芸術に親しみ、豊かな感性をもつ児童・生徒を育成するという目的は果たせた。
		費用対効果	事業費に見合う成果・効果は得られたか	2	予算を活用し、キラリ☆富士見メインホールで開催したことにより、市制施行50周年の機運醸成するとともに、富士見市の音楽教育の質の向上に寄与した。
課題		<p>①働き方改革と教職員の理解の両立 ②会場であるキラリ☆ふじみの確保</p>			

うたごえフェスタ

令和4年12月4日(日)

キラリ☆ふじみメインホール

小学校4校と中学校1校が参加しました。

合同合唱では、50周年プロモーション動画で歌われた、「50周年を祝う歌」を合唱しました。



合同合唱「50周年を祝う歌」

<p>令和4年 12月4日(日)</p> <p>開演 13:30 (開場13:00)</p> <p>富士見市制 50周年 開演 キラリ☆ふじみ</p> <p>第9回 富士見市</p> <p>うたごえフェスタ</p>	
<p>①南畑小学校</p> <p>指揮 八土 美奈子 伴奏 倉本 眞理</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 ひょっこりひょうたん島 作詞 関山陽子 作曲 徳 聖太郎 2 水平線 作詞 清水敏幸 作曲 清水敏幸 3 ほたるこい わらべうた 	<p>②鶴瀬小学校</p> <p>指揮 大庭 真希 伴奏 1. 小島明日菜 (児童) 2. 小島千彩 (児童) 4. 林 香織</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 すてきな友達 作詞 橋本千鶴子 作曲 鈴木邦彦 2 世界に一つだけの花 作詞・作曲 藤原歌之 演奏 岸田勇気 3 歌よ ありがとう 作詞 花岡志 作曲 橋本 祥昭 4 とどいてますか 作詞 谷川俊太郎 作曲 新美健英
<p>③ふじみ野小学校</p> <p>指揮 小林 理沙 伴奏 北田 富美子</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 世界がひとつになるまで 作詞 松井 三郎 作曲 秀村野 繁二 2 わたしが呼吸するとき 作詞 柴田 江美 作曲 吉田 晴明 3 トゥモロー 訳詞 片岡 和子 作曲 チャールズ・ブレイク 演奏 栗田 啓生 ストラウス 4 チェリー 作詞 梶野 五来 作曲 梶野 五来 演奏 浅野 由莉 	<p>④つるぎ台小学校</p> <p>指揮 大庭 博子 伴奏 野村 彩</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 サンタがまちにやってくる 作詞 H. キレスピー 作曲 J. F. クーツ カンペ・タカオ 訳詞 2 同聲3部合唱とピアノのために ユウキノワタ から 僕のドラゴン 作詞 みなづきみり 作曲 松下隆 3 同聲3部合唱とピアノのために ユウキノワタ から 歌声はどこにいくの 作詞 みなづきみり 作曲 松下隆
<p>⑤富士見台中学校</p> <p>指揮 西澤 美香 伴奏 長瀬 遥菜 (生徒)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 空は今 作詞 山崎 朋子 作曲 山崎 朋子 2 ほらね、 作詞 伊東 忠 作曲 伊東 忠 	

プログラム

市制施行50周年記念事業 実施報告書

事業実施課【学校教育課】

事業名		「青少年の主張大会～50年後の未来を語ろう!～」事業			
目的		市制50周年を記念して、青少年の社会参加と意識啓発及び市民の青少年に対する理解を深めることを目的に主張大会を開催する。			
実施体制 (担当課・市民参画等)		青少年育成市民会議、生涯学習課、学校教育課			
事業費	令和3年度	予算額	総額:0千円		
		執行額	総額:0千円 主な費用:		
	令和4年度	予算額	総額:451千円(内227千円は生涯学習課から青少年育成市民会議への補助金から支出)		
		執行額	総額:328千円(内161千円は生涯学習課から青少年育成市民会議への補助金から支出) 主な費用:印刷製本費(リーフレット代、作文集代)、参加者記念品等		
実施内容 (実績)		<p>1 日時・場所 日時:令和4年11月26日(土)午後1時～午後3時30分 場所:鶴瀬コミュニティセンターホール</p> <p>2 対象者・参加人数等 対象者:市内小学校・中学校・富士見特別支援学校・県立富士見高等学校の児童生徒から学校代表1名。(小学生11名、中学生6名、富士見特別支援学校1名、県立富士見高等学校1名の合計19名) 参加人数:発表者19名、他90名(市長、教育長、青少年育成市民会議、発表者の保護者、市内小・中・富士見特別支援、県立富士見高等学校校長、教諭、一般市民)</p> <p>3 周知方法 ・市内市内小学校・中学校・富士見特別支援学校・県立富士見高等学校への開催案内、学校へのポスター掲示、富士見市役所HPに掲載した。</p> <p>4 具体的な内容 ・「50年後の富士見市～こんな富士見市になったらいいな～」をテーマに富士見市への思いを作文にして発表を行った。</p> <p>5 成果・効果 小・中学校、富士見特別支援学校、県立富士見高等学校の児童生徒が、「50年後の富士見市～こんな富士見市になったらいいな～」について主張することで、富士見市の街に対する郷土愛を共有することができた。</p>			
事業評価		評価項目	評価の視点	評価 (3段階)	評価理由
		目的達成度	当初の予定どおり事業の目的を達成できたか	3	鶴瀬コミュニティセンターホールを利用し、児童生徒一人ひとりが堂々と主張をすることができ、社会参加と意識啓発の目的を果たすことができた。
		費用対効果	事業費に見合う成果・効果は得られたか	3	主張した児童生徒一人ひとりが社会への参画意識を高めることができたとともに、市民への青少年への理解も深めることができ、成果・効果を十分に感じる事ができた。
課題		<p>①開催時期の検討 ②発表形態(発表者人数、発表時間等)</p>			

○パンフレット



富士見市市制施行50周年記念
青少年の主張大会
 ～50年後の未来を語ろう！～

発表者一覧 (敬称略)

所属	学年	氏名	タイトル
藤瀬小学校	6年	山内 颯人	きれいな富士見市へ
水谷小学校	6年	高山 結南	自然豊かに
南塚小学校	6年	岡田 知蓮	いろいろな人の声をきく富士見市
岡沢小学校	6年	岩本 七穂	50年後の富士見市
藤瀬小学校	6年	高橋 まどか	誰もが幸せと思える富士見市に
水谷東小学校	6年	佐藤 颯	希望と輝あふれる富士見市
藤沢小学校	6年	藤 浩咲	思い出の市 富士見市
みずほ台小学校	6年	藤根原 優芽	富士見市をよりよくするには
針ヶ谷小学校	6年	田中 心寧	未来の学び
ふじみ野小学校	6年	小形 舞子	みんながのびのび暮らせる所に
つるせ台小学校	6年	寺崎 結音	50年後の未来へ
富士見台中学校	2年	大谷 侑聖	笑顔の花が咲き続けるために
本郷中学校	2年	山崎 忍穂	「今」から未来への願い
東中学校	2年	柴崎 優	文化の交流と広がる個性
西中学校	2年	藤見 日風	守り続け、心の風景
藤瀬中学校	2年	宮藤 梓	特別な富士見市
水谷中学校	2年	佐藤 栞蓮	50年後の富士見市
富士見特別支援学校 高等部	3年	松本 紫結	50年後の富士見市 ～こんな富士見市になったらいい～
埼玉県立 富士見高等学校	1年	井上 み歩	地域に根ざした富士見市

○発表者



市制施行50周年記念事業 実施報告書

事業実施課【学校教育課】

事業名		「学校吹奏楽祭」事業			
目的		市制50周年を記念して、市内中学校にある吹奏楽部による文化創造活動の推進や相互の文化交流の場を確保するために学校吹奏楽祭を開催する。			
実施体制 (担当課・市民参画等)		吹奏楽フェス実行委員会			
事業費	令和3年度	予算額	総額:0千円		
		執行額	総額:0千円 主な費用:		
	令和4年度	予算額	総額:500千円		
		執行額	総額:500千円 主な費用:文化芸術事業補助金		
実施内容 (実績)		<ol style="list-style-type: none"> 1 日時・場所 ・令和5年3月26日(日) ・会場:キラリ☆ふじみ 2 対象者・参加人数等 ・市内中学校吹奏楽部生徒および保護者 参加人数:600人 3 周知方法 ・出演者を通じた保護者案内 4 具体的な内容 ・合唱発表 合同合奏では、作曲者の指揮のもと、富士見市市制50周年を記念して作られた『『式典序曲ふじみ』』の初演を行った。 5 成果・効果 ・市内中学校6校の参加により、文化創造活動の推進と交流という目的を果たすことができたと考えている。また、地元にはゆかりの指揮者等の協力を得て、式典序曲を初演することで、特色を出すことができた。 			
事業評価		評価項目	評価の視点	評価 (3段階)	評価理由
		目的達成度	当初の予定どおり事業の目的を達成できたか	2	市内全ての中学校が参加したことにより、相互の文化交流という目的は果たせた。
		費用対効果	事業費に見合う成果 ・効果は得られたか	2	予算を活用し、キラリ☆富士見メインホールで開催したことにより、市制施行50周年の機運醸成するとともに、富士見市の音楽教育の質の向上に寄与した。
課題		<ol style="list-style-type: none"> ①働き方改革と教職員の理解の両立。 ②会場、キラリ☆ふじみの確保。 			

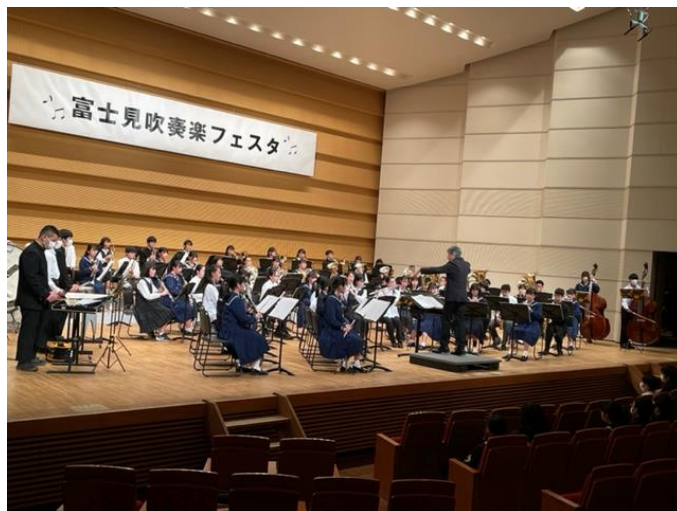
吹奏楽フェスタ

令和5年3月26日（日）

キラリ☆ふじみメインホール

中学校 6 校の吹奏楽部が参加しました。

合同合奏では、作曲家、鈴木英史先生が市制施行 50 周年吹奏楽フェスタのために作曲した「式典序曲『ふじみ』」を先生自身の指揮により演奏。



合同合奏「式典序曲『ふじみ』」

2023年3月26日（日）

キラリ☆ふじみ メインホール

13:30 開場 14:00 開演

富士見市内中学校 6 校による演奏発表会

(富士見台中学校、鶴瀬中学校、本郷中学校、水谷中学校、西中学校、東中学校)

主催 富士見吹奏楽フェスタ実行委員会
後援 富士見町教育委員会

プログラム

1 開場
2 合同演奏
3 各学校の演奏 4 閉会式

合同演奏
指揮・作曲 鈴木 英史
式典序曲「ふじみ」(初演)

各学校の演奏曲目

① 本郷中学校
指揮 小林 紗紀

- 風になりたい
- YASUHIメドレー

② 東中学校
指揮 永賀 康正了

- 音楽劇と打楽器のためのセレブレーション
- すずめ feat. | 明
- 情熱大陸

③ 西中学校
指揮 安藤 マリ

- マーチ・スカイブルー・ドリーム
- ゴールド・フラッシュ! (ダイジェスト)
- J-popコーナー

④ 水谷中学校
指揮 遠山 智了

- J-Beat 日本を勇気づける歌
- sing sing sing
- Diancy at the movie

⑤ 富士見台中学校
指揮 西澤 美香

- ありがとう
- 栄光の架け橋
- sing sing sing

⑥ 勝瀬中学校
指揮 橋本 遼平

- 行進曲「嵐めきの唄」
- 麗女の宅急便コレクション
- J-Beat ～2022年J-Popメドレー～

プログラム

市制施行50周年記念事業 実施報告書

事業実施課【鶴瀬公民館】

事業名		「子どもフェスティバル」事業		
目的		「ふるさと富士見」と呼べる文化を伝える場として富士見市子どもフェスティバルを開催し、将来を担う子どもたちの健全な育成を推進するとともに、市制50周年を祝う。		
実施体制 (担当課・市民参画等)		鶴瀬公民館(事務局)、富士見市子どもフェスティバル実行委員会(イベント運営) 子どもステージ、アトラクション参加団体は公募で実行委員会に参画しているほか、ポスター原画、テーマは公募している。タイムカプセル「20年後の手紙」には市内小学校の全児童が参加した。		
事業費	令和3年度	予算額	総額:0千円	
		執行額	総額:0千円	
	令和4年度	予算額	総額:2,567千円	
		執行額	総額:927千円 主な費用:委託料、消耗品費、印刷製本費、役務費	
実施内容 (実績)		<p>1 日時・場所 令和4年6月26日(日) 午前10時00分～午後3時00分 市民総合体育館</p> <p>2 対象者・参加人数等 市民(子ども、付き添い) 938人</p> <p>3 周知方法 ・広報富士見4月号へイベント名と開催時期遅延告知記事を掲載 ・広報富士見6月号へイベント開催記事を掲載 ・令和4年4月から市ホームページに上記情報を掲載 ・イベントポスター100枚を市内10公共施設などに掲示</p> <p>4 具体的な内容 ・子どもステージ…公募団体による太鼓演舞、ダンス発表 ・アトラクション …ラグビーゲーム、子ども将棋、昔あそび(お手玉、工作など)、まがたまペンダント作り ・ポスター原画展 ・タイムカプセル「20年後の手紙」セレモニー(市制50周年記念企画) 919通回収 ・「10年前の手紙」返却(市制40周年記念企画で集めた手紙) 10通手渡し返却 ・10年前のビデオレター上映</p> <p>5 成果・効果 子どもフェスティバルは、令和2・3年度の2年間、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となっていたが、今回は市制施行50周年記念事業として3年ぶりに開催することができ、子どもたちの健全な育成及び成長への一助となった。 長引くコロナ禍の中、「子どもたちに“発表の場”を与えたい」という実行委員会の強い思いから、安全に開催するため事前予約制での縮小開催ではあったが、参加した子どもたちは久しぶりの晴れ舞台で笑顔を見せていた。 ステージやアトラクションは、子どもたちの思い出づくりとなったほか、50周年記念事業であるタイムカプセルのセレモニーなど、未来をつなぐ取り組みができた。</p>		
事業評価	評価項目	評価の視点	評価 (3段階)	評価理由
	目的達成度	当初の予定どおり事業の目的を達成できたか	2	縮小開催・事前予約制だったが、出演を希望する団体、入場を希望する市民(子ども・付き添い)の方は全員受け入れることができ、実施を喜んでいました。
	費用対効果	事業費に見合う成果・効果は得られたか	2	縮小開催に対応した執行とし、過不足なく実施できた。参加者の満足度は高かった。
課題				



開会式でポスター原画作者たちに表彰



子どもステージでのダンス発表



ふわっぴーと記念撮影



アトラクションの子ども将棋



アトラクションのラグビーゲーム



アトラクションの昔あそび



図書館まつり(11月13日)で「20年後の手紙」をタイムカプセルに封入した。

市制施行50周年記念事業 実施報告書

事業実施課【南畑公民館】

事業名		「第20回なんばた青空市場」事業			
目的		生産者と消費者が直接交流する場を設けることによって、生産者の顔が見える地元生産物をPRし、コミュニケーションを図るとともに、市制50周年を祝う。			
実施体制 (担当課・市民参画等)		主催 なんばた青空市場実行委員会/南畑公民館			
事業費	令和3年度	予算額	総額:0千円		
		執行額	総額:0千円 主な費用:		
	令和4年度	予算額	総額:175千円		
		執行額	総額:156千円 主な費用:事業協力者謝礼、仮設トイレリース料		
実施内容 (実績)		<p>1 日時・場所 日時:令和4年11月3日(木・祝) 午前10時から午後2時 会場:南畑幼稚園及び幼稚園周辺の田んぼ</p> <p>2 対象者・参加人数等 来場者数:約3,000人</p> <p>3 周知方法 チラシ・ポスター、ホームページ、SNS</p> <p>4 具体的な内容 模擬店、フリーマーケット、かかしコンテスト10/26~11/3、トラクター試乗体験、さんだら飛ばし、やきいも、やさいの重さ当てクイズ、米のつかみとり、アートバルーン、子どもコーナー、ポニーの乗馬体験</p> <p>5 成果・効果 ・かかしコンテストは22作品出展(審査員・一般web投票あり) ・天候に恵まれ、例年よりも多くの人手で賑わった ・飲食店の売り切れが早かった ・子ども連れの家族が多く、三世代で楽しんでくれた</p>			
事業評価		評価項目	評価の視点	評価 (3段階)	評価理由
		目的達成度	当初の予定どおり事業の目的を達成できたか	2	・地元農産物のPRの場になった
		費用対効果	事業費に見合う成果 ・効果は得られたか	3	・子ども連れの家族が多く、買い物やアトラクションなど、三世代で楽しめる内容になった
課題		<p>・若年代の出店者が加わってはいるものの、実行委員の高齢化が進んでいる。</p> <p>・放送設備の改善策が必要</p> <p>・予想よりも来場者が多く、飲食店の完売が相次いだ。</p>			

〇チラシ



大根・小松菜・かぶ・ゴボウ・柿・もち米など、旬の穀物やみずみずしい新鮮野菜が並びます。



間近で見ると迫力満点！思った以上の疾走感がありますよ。



地元南畑で取れた新米を使ったおにぎりは大人気！2個で100円という安さも魅力的。



小物雑貨のお店もありました。

市制施行50周年記念事業 実施報告書

事業実施課【水谷東公民館】

事業名		「第30回やなせ川いかだラリー」事業			
目的		市制50周年を記念して、身近な地域を流れる柳瀬川に親しみながら自然と環境を考える機会にするとともに、参加者相互の親睦と交流を図るため、いかだラリーを開催する。			
実施体制 (担当課・市民参画等)		主催 やなせ川いかだラリー実行委員会・水谷東公民館			
事業費	令和3年度	予算額	総額:0千円		
		執行額	総額:0千円 主な費用:		
	令和4年度	予算額	総額:171千円		
		執行額	総額:152千円 主な費用:事業協力謝礼、記念クリアファイル作製費、賞品代		
実施内容 (実績)		<p>1 日時・場所 令和4年7月24日(日)8:30~12:00 柳瀬川志木大橋下から富士見橋付近</p> <p>2 対象者・参加人数等 参加チーム7艇(乗船者23人)</p> <p>3 周知方法 広報ふじみ6月号掲載 水谷東地区4町会及び市内公共施設にポスター貼付、チラシ配布依頼 近隣商業施設(ビバホーム)にポスター掲示 水谷東公民館ギャラリーにて思い出写真展掲示(6~8月) ホームページにて周知 動画「いかだを作ろう」「いかだラリー思い出写真展」配信 記者クラブへ記事提供 J:COMへ取材依頼(当日取材あり)</p> <p>4 具体的な内容 平成5年に第1回目を開催。今年は「第30回やなせ川いかだラリー」を3年ぶりに開催。参加チームが持ち込む手作りのいかだで柳瀬川を下り、操作性、話題性、いかだの出来栄え、衣装、演技などを競う。いかだ下り終了後、参加者全員で河川のごみ拾いを実施。</p> <p>5 成果・効果 前回から2年間のブランクがあったため参加チーム数に懸念があったが、7艇の参加を得て前回(8艇)並みとなった(内市職員2チーム)。入賞は水谷東地域のチームが大勢を占め、地域活性化の一助につながるとともに初参加や若い世代の参加もあり、市制施行50周年記念事業に相応しいにぎわいのある事業開催となった。</p>			
事業評価		評価項目	評価の視点	評価 (3段階)	評価理由
		目的達成度	当初の予定どおり事業の目的を達成できたか	2	いかだ下りを通して柳瀬川への親しみや自然環境の保護と参加者同士の交流を図ることができた。
		費用対効果	事業費に見合う成果・効果は得られたか	2	50周年記念として作成したいかだラリーオリジナルクリアファイルに関係者に配布し機運醸成を図ることができた。
課題		いかだ作成場所や保管場所、搬入時の車両用意の必要があるため、出艇可能なチームが限られてしまうことから、参加艇を広げるための工夫が必要。			



参加チーム
大募集!
6/2~6/30

第30回
やなせ川いかだラリー
7/24(日) 8時30分~正午

ギャラリー大歓迎!
競技スタート10時



各チームが手作りしたいかだで
志木大橋から富士見橋まで下ります
そのパフォーマンスに注目!!

新型コロナウイルス感染症の状況
により中止になる場合があります
<主催>
やなせ川いかだラリー実行委員会
水谷東公民館 (048-473-8717)



いかだを作ろう



市制施行 50 周年記念事業「第 30 回やなせ川いかだラリー」周知用ポスター

市制施行 50 周年記念事業「第 30 回やなせ川いかだラリー」クリアファイル



市制施行50周年記念事業 実施報告書

事業実施課【 水子貝塚資料館 】

事業名		「ビジュアル版 富士見のあゆみ発行」事業			
目的		市制施行50周年を記念し、最新情報を盛り込んだ、富士見市の歴史をわかりやすく学べる図書を発行する。			
実施体制 (担当課・市民参画等)		実施主体 水子貝塚資料館、難波田城資料館			
事業費	令和3年度	予算額	総額:0千円		
		執行額	総額:0千円 主な費用:		
	令和4年度	予算額	総額:2,868千円		
		執行額	総額:2,010千円 主な費用:印刷製本費、通信運搬費、監修謝礼		
実施内容 (実績)		<p>1 タイトル 「新版 富士見のあゆみ」</p> <p>2 仕様 A5判 フルカラー 約260ページ</p> <p>3 印刷部数 1,000部 市内公共施設、学校、県内図書館、博物館等無償頒布部数 500部 有償頒布部数 500部(令和5年4月11日から1部1,000円で販売開始)</p> <p>4 具体的な内容 富士見市の歴史の主要な部分をピックアップし、平易な文章と写真、イラスト、表などによる一目でわかる内容</p> <p>5 成果・効果 市民が自分たちの暮らす街について知り、親しみと愛着を抱き、長く住み続けたいという気持ちを育むとともに、学校教育やシティプロモーションでの活用もできる。</p>			
事業評価		評価項目	評価の視点	評価 (3段階)	評価理由
		目的達成度	当初の予定どおり事業の目的を達成できたか	3	内容の精査に時間を要したため、当初予定より発行が遅れたが、当初目的に沿った内容のものを刊行することができた。
		費用対効果	事業費に見合う成果・効果は得られたか	3	原稿執筆、イラスト作成など、職員が行ったことにより、印刷製本費のコストを大幅に下げることができた。
課題					



市制施行50周年記念事業 実施報告書

事業実施課【 水子貝塚資料館 】

事業名		「水子貝塚星空シアター」事業		
目的		水子貝塚公園で野外映画鑑賞会、ステージ発表、縄文体験コーナー等を開催し、市制施行50周年を市民とともに祝い、市内外にPRする。		
実施体制 (担当課・市民参画等)		実施主体 水子貝塚星空シアター実行委員会、水子貝塚資料館		
事業費	令和3年度	予算額	総額:0千円	
		執行額	総額:0千円 主な費用:	
	令和4年度	予算額	総額:1,398千円	
		執行額	総額:1,223千円 主な費用:水子貝塚星空シアター開催補助金	
実施内容 (実績)		<p>1 日時・場所 令和4年9月3日(土) 午後3時00分～午後8時00分 水子貝塚公園</p> <p>2 対象者・参加人数等 市民を含む約1,200人が来場</p> <p>3 周知方法 ・広報富士見8月号にて映画鑑賞申込についてのお知らせを掲載 ・広報富士見9月号にてイベント開催記事を掲載 ・市Facebook・Twitter・LINEにて映画鑑賞申込、イベント内容について掲載 ・ポスター13枚を近辺の市掲示板に掲示。館内にチラシを配架 ・市ホームページにて内容を随時掲載</p> <p>4 具体的な内容 ・水子貝塚公園を活用した野外映画鑑賞会を開催 ・縄文体験コーナー(まが玉づくり、火おこし・やり投げ体験、竹とんぼづくり)を実施 ・特設ステージで地域で活動する団体の演奏やダンス等を披露</p> <p>5 成果・効果 地域や市の祭りとして定着していたが3年ぶりの開催となり、感染症拡大予防対策のため、おみこしなどの子ども行事の中止、模擬店での食料の販売中止、映画鑑賞の事前申込み制などの対策をとり、規模を縮小しての開催となったが、太鼓や地元出身歌手のステージやダンスグループなどのステージ発表、縄文体験としてまが玉づくりや火おこし・やり投げ体験など復活開催として行うことができた。 当日は多くの来園者があり、「久しぶりの開催でうれしい」、「ぜひ来年もまた開催してほしい」等の声が寄せられた。 また、ららぽーと富士見と連携して、ららぽーと富士見を第2会場として映画を同日同時刻に上映した他、映画上映前には両会場でも市制施行50周年のPR動画を上映して、市内外にPRもできた。</p>		
事業評価	評価項目	評価の視点	評価 (3段階)	評価理由
	目的達成度	当初の予定どおり事業の目的を達成できたか	3	3年ぶりで感染症対策のため規模と人数を制限して例年とは違った形での開催になったが、映画鑑賞には募集定員を上回る応募があり、その他の催しものでも予想より多くの人数が参加していた。
	費用対効果	事業費に見合う成果・効果は得られたか	3	規模を縮小し制限のある中での開催となったが、予期した以上の人数の参加があった。
課題		映画鑑賞の事前申込みの方法を工夫する必要がある。		

水子貝塚星空シアター

令和4年9月3日（土曜日）午後3時から午後8時まで、水子貝塚星空シアターが開催されました。当日は映画鑑賞に470名の他、ステージや縄文体験コーナーなど、全体で1,200名ほどの来場者がありました。



オープニングセレモニー富士見太鼓



セレモニーと来賓(市長)挨拶



上映風景



座席風景



模擬店(射的)



火起こし体験

市制施行50周年記念事業 実施報告書

事業実施課【 難波田城資料館 】

事業名		「難波田城公園まつり」事業			
目的		冠事業。「難波田城公園まつり」を市制施行50周年記念事業として開催。歴史公園にふさわしい様々な昔体験やイベントを繰り広げ、地域の歴史や伝統文化に親しんでいただく。			
実施体制 (担当課・市民参画等)		実施主体 難波田城公園活用推進協議会、難波田城資料館 協力 川越藩火縄銃鉄砲隊保存会、市民学芸員、資料館友の会ほか			
事業費	令和3年度	予算額	総額:0千円		
		執行額	総額:0千円 主な費用:		
	令和4年度	予算額	総額:267千円		
		執行額	総額:267千円 主な費用:難波田城公園活用推進協議会補助金		
実施内容 (実績)		<p>1 日時・場所 令和4年10月23日(日) 10時～13時30分 難波田城公園</p> <p>2 対象者・参加人数等 市民を含む1,600人(通常開催の6割程度)</p> <p>3 周知方法 ポスター 市ホームページ</p> <p>4 具体的な内容 新型コロナウイルス感染症対策として、人力車や紙芝居などの体験を中止し、規模を縮小して3年ぶりに開催した。午前中は、市内小中学校・幼稚園、和太鼓などの芸能発表、資料館友の会や市民学芸員などの協力による昔体験を実施した。午後は、川越藩火縄銃鉄砲隊による火縄銃演武を実施した。来富中のシャバツ市訪問団の皆様もよろいを着て参加した。 3年前に南畑幼稚園が作成し、コロナ禍でお披露目の機会が無かった「なんぱった」の着ぐるみが披露され、寄贈された。 シャバツ市訪問団に、当館で活動するほうき作り伝承会に製作していただいた手編み箒をお土産として贈呈した。</p> <p>5 成果・効果 密を避ける観点から、広報は控えめにしたが、事前に問い合わせも多く、3年ぶりの開催を喜ぶ声が聞かれた。 シャバツ市と姉妹都市提携して丁度40年目の記念日にあたり、土産品の交換など交流を深めることができた。</p>			
事業評価		評価項目	評価の視点	評価 (3段階)	評価理由
		目的達成度	当初の予定どおり事業の目的を達成できたか	3	例年の難波田城公園まつりと異なる多くの要素があり、記念行事にふさわしい内容となった。シャバツ市の皆様にも喜んでいただけた
		費用対効果	事業費に見合う成果・効果は得られたか	3	川越藩火縄銃鉄砲隊保存会の協力により事業費以上の成果・効果を得られた。
課題		コロナ禍のため、6月の予定を10月に延期した。さいわい天候に恵まれたが、イベントが多い時期であり、ことにふじみふるさと祭りの翌日となり、両方の関係者の方は連日のイベントでお疲れだったと思う。			

富士見市市制施行 50 周年記念

難波田城公園まつり



令和 4 年 10 月 23 日(日) 午前 10 時 ~ 午後 1 時 30 分

武者行列 (午後 0 時 30 分に南畑八幡神社を出発)、火縄銃演武 (午後 1 時から)

芸能発表 (和太鼓など)、昔体験 (はたおろし、拓本など)、模擬店 (だんご、やきそばなど)

※雨天の場合には、一部内容を変更して実施します。

主催 難波田城公園活用推進協議会 難波田城資料館

〒354-0004 埼玉県富士見市下南畑 568-1

電話 049 (253) 4664 Fax 049 (253) 4665

<https://www.city.fujimi.saitama.jp/>



交通案内

- 志木駅東口より東武バス「ららぽーと富士見」行き、「難波田城公園南口」下車徒歩 7 分または「興禅寺入口」下車徒歩 5 分もしくは「下南畑」行き、終点下車徒歩 13 分
 - 鶴瀬駅東口より市内循環バス「難波田城公園」下車徒歩 2 分
- ※駐車場に限りがありますので、車での来園はご遠慮下さい。



難波田城公園まつり 火縄銃演武



難波田城公園まつり 芸能発表 富士見太鼓

市制施行50周年記念事業 実施報告書

事業実施課【 水子貝塚資料館 】

事業名		「武者行列」事業		
目的		市民による武者行列をららぽーと富士見で行い、市制施行50周年を市民とともに祝い、市内外にPRする。		
実施体制 (担当課・市民参画等)		実施主体 水子貝塚資料館、難波田城資料館、両館市民学芸員 協力 川越藩火縄銃鉄砲隊保存会、ららぽーと富士見		
事業費	令和3年度	予算額	総額:0千円	
		執行額	総額:0千円 主な費用:	
	令和4年度	予算額	総額:393千円	
		執行額	総額:408千円 主な費用:事業協力者謝礼、需用費、委託料	
実施内容 (実績)		<p>1 日時・場所 令和4年5月28日(土) 午後1時～2時 市役所～ららぽーと富士見～文化の杜公園</p> <p>2 対象者・参加人数等 行列参加者 50人 行列観覧者 約600人(市役所前、沿道、ららぽーと富士見館内)</p> <p>3 周知方法 ポスター 市ホームページ</p> <p>4 具体的な内容 武者行列参加者を市民から募集し、市長を大将として50人の武者隊を編成し、ららぽーと 富士見1階フロアを行列した。 ららぽーと富士見屋内広場では、セレモニーとして出陣の際に行う三献(さんこん)の儀、市長あいさつ、一本締めを行った。</p> <p>5 成果・効果 市民参加による総勢50人の武者行列は勇壮で迫力があり、沿道やららぽーと富士見内でも注目度が高く多くの観覧者があり、市制施行50周年をPRすることができた。 武者行列の参加者のアンケートでは、すごく満足、すごく楽しかった、50周年記念イベントとしてすごく良いとの感想がほとんどで、市民参加型行事としても成果があった。</p>		
事業評価	評価項目	評価の視点	評価 (3段階)	評価理由
	目的達成度	当初の予定どおり事業の目的を達成できたか	3	市役所前、沿道、ららぽーと富士見館内ともに、多くの観覧者があり、市制施行50周年をPRすることができた。 武者行列の参加者もアンケートでは、すごく満足、すごく楽しかった、50周年記念イベントとしてすごく良いと感想が多数寄せられた。
	費用対効果	事業費に見合う成果・効果は得られたか	3	川越藩火縄銃鉄砲隊保存会の協力により事業費以上の成果・効果を得られた。
課題				

○ポスター

富士見市・富士見市教育委員会 主催

○当日の様子

鐘を身につけ、侍や足輕に扮した市民の皆さまが、市役所周辺やららぽーと富士見内を歩きます。

富士見市市制施行50周年記念
武者行列

5/28日
13時～14時ごろ

13時30分 エントランス4
14時 文化の杜公園

13時30分からのアトラクション開催

1F

お祝い
武者行列実施中は、エントランス含む館内の通行および駐車場入出庫ルートを一部制限する可能性があります。ご理解ご協力のほどよろしくお願いいたします。

三井ショッピングパーク
ららぽーとLalaport

ららぽーと公式通販サイト
& mall

三井不動産
MITSUBI FUDOSAN

○当日の様子



市役所正面 大将（市長）の関（とき）の声で出陣



ららぽーと富士見内での行列

(2) 市制施行50周年記念に係る その他の取組

①富士見市議会議場コンサート

市制施行 50 周年及び富士見市議会 50 周年を記念して、令和4年10月15日土曜日に議場を会場として、東邦音楽大学による弦楽四重奏が行われ、午前73名、午後87名の計160名が演奏を楽しみました。

○ポスター

**富士見市議会
議場コンサート**
来て！観て！聴いて！カルテット

議場で音楽コンサートを開催します！
普段は座れない議員席や市長席などで、素敵な音楽を聴いてみませんか？

日程 10月15日(土)
時間 (午前の部) 午前11時開始 受付午前10時30分から
(午後の部) 午後1時30分開始 受付午後1時から

場所 富士見市役所内議場
対象 市内在住、在勤、在学の方
定員 午前の部、午後の部どちらも100名まで
定員に達した場合は抽選 **参加費無料**

演奏 東邦音楽大学による弦楽四重奏

申込方法 はがきまたは申込フォームから
申込期間 8月1日(月)から8月21日(日)まで(はがき申込みの場合は当日消印有効)
申込要項 氏名、郵便番号・住所、電話番号、観覧する公演(午前の部、午後の部のいずれか)、
チケットの申込枚数(1人1回、チケットは2枚まで)、バリアフリー席(全4席)が
ご必要な方は希望する旨を明記の上お申込みください
当選発表 抽選結果は9月中旬ごろ応募者全員に通知します。
注意事項 いただいた個人情報は、議場コンサートに関する連絡に利用し、
他の目的では利用いたしません。
その他、公演の詳細につきましては、富士見市議会ホームページをご覧ください。

お問い合わせ 富士見市議会事務局 ☎ 049-265-7800(直通)

○当日の様子



②市制施行 50 周年記念グッズ

ふわっぴーグッズを販売している「富士見市地域活性化研究会（愛称：ふじみ☆ラボ）」では、市制施行 50 周年を PR するため、記念グッズの作製・販売を行いました（いずれも販売終了）。

○市制施行 50 周年記念エコバッグ(税込700円)



○市制施行 50 周年記念ステンレスボトル(税込800円)



○市制施行 50 周年記念クリアファイル(税込150円)



○市制施行 50 周年記念ピンバッジ(税込300円)



③市制施行 50 周年給食

市制施行 50 周年を記念し、富士見市産の食材を使用したメニューや市制施行当時(昭和40年代)に栄養価の高い安価な食材として食生活を支えていたメニューが、現代の子どもたちの健康を育む給食として提供されました。

○令和4年6月16日提供(地場産給食)



- ・富士見ほうれん草ボール
(富士見市産ほうれん草使用)
- ・豚肉の梨ソース炒め
(梨ピューレ:富士見市産の梨を使用)

○令和4年12月13日提供(地場産給食)



- ・おこめのムース
(富士見市産のお米(彩のきずな)を使用)
- ・玉子焼き
(マスコットキャラクターふわっぴーをプリント)

○令和5年1月24日提供(昔の給食の再現給食)



- ・くじら肉の甘酢あんかけを提供

○令和5年1月31日提供(地場産給食)



- ・野菜たっぷり味噌汁
(三芳町産の小松菜を使用)
- ・かぶとひき肉のトロトロあんかけ
(富士見市産のかぶを使用)
- ・富士見いちごゼリー
(富士見市産のいちごを使用)

事業検討体制

①ステークホルダーミーティング及び実施内容検討会

令和2年度に、市内在住・在勤・在学の若い世代の方々にご協力いただき、市制施行50周年記念事業を検討する「ステークホルダーミーティング」を開催しました。令和3年度には、ステークホルダーミーティングで提案された事業の実施内容を検討する「実施内容検討会」を開催しました。この提案に基づき、庁内での検討を経て、令和4年度に記念事業のひとつである「謎解きデジタルスタンプラリー」事業が実施されました。

○令和2年度に開催したステークホルダーミーティングの様子



○令和3年度に開催した実施内容検討会の様子



○令和4年度に記念事業として実施された「謎解きデジタルスタンプラリー」事業



②市民アイデアの募集

市制施行50周年を迎えるにあたり、市民から記念事業のアイデアをいただくため、令和2年度に市民アイデアの募集を行いました。

1 募集概要

公共施設に設置している応募受付箱、ファックス、郵送及び市内小・中・特別支援学校で令和2年9月1日から11月30日までアイデアの募集を行いました。

2 募集結果

募集の結果、応募数 1,284 件、アイデア数 3,559 件の提案をいただきました。

応募方法別

応募方法	件数
ホームページ応募フォーム	76件
郵送	3件
ファックス	3件
応募受付箱	60件
学校	1,142件
合計	1,284件

年代別

年代	件数
小学生	1,145件
中学生	6件
20歳未満	10件
20代	10件
30代	14件
40代	39件
50代	18件
60代以上	28件
不明	14件
合計	1,284件

■ アイデア数

分類	件数
祭り・イベント	1,937件
給食	755件
制作・工作	239件
施設	198件
その他	430件
合計	3,559件

3 市民アイデアを基とした記念事業

庁内での検討を経て、市民アイデアを事業化した事業は、次のとおりです。

アイデア概要（提案年代）	アイデアを反映した事業
けやきを50周年記念に植えたい。(10代以下)	「市の木 けやき植樹」事業にて実現
ふわっぴーを題材とした絵本を作成してほしい。(40代)	「ふじみ☆ふわっぴー絵本作製」事業にて実現
ふわっぴーの衣装デザインの募集をしてほしい。(20代)	「ふわっぴー10周年記念お誕生日会」事業にて実現
ふわっぴーの絵を描く大会をしたい。(10代以下)	
子ども市議会を実施してほしい。(30代)	「子ども大学☆ふじみ10期記念」事業にて実現
文化的な業績を残した人々の顕彰活動をしてほしい。(60代以上)	「図書館まつり」事業にて実現
夢や手紙をタイムカプセルに入れて埋めたい。(50代)	「子どもフェスティバル」事業及び「図書館まつり」事業にて実現

※このほか、学校の児童・生徒から給食や学校行事に係るアイデアが多くあったことから、各学校及び学校給食センターに情報提供を行い、各学校等において可能な範囲での実現を依頼しました。

③庁内での事業検討体制

・市制施行50周年記念事業推進本部委員一覧

役職	令和2年度	令和3年度～令和5年度
本部長	富士見市長	富士見市長
副本部長	富士見市副市長	富士見市副市長
副本部長	富士見市教育委員会教育長	富士見市教育委員会教育長
委員	総務部長	危機管理監
	総合政策部長	総務部長
	自治振興部長	政策財務部長
	市民生活部長	協働推進部長
	子ども未来部長	市民部長
	健康福祉部長	子ども未来部長
	まちづくり推進部長	健康福祉部長
	建設部長	経済環境部長
	会計管理者	都市整備部長
	教育部長(総務担当)	建設部長
	教育部長(学校担当)	会計管理者
	議会事務局長	教育部長
	監査委員事務局長	学校統括監
	—	議会事務局長
	—	監査委員事務局長

・市制施行50周年記念事業推進委員会委員一覧(令和2年度・令和3年度)

役職	令和2年度	令和3年度
委員長	総合政策部長	政策財務部長
副委員長	秘書広報課長	秘書広報課長
委員	管財課長	営繕課長
	鶴瀬西交流センター所長	シティプロモーション課長
	市民課長	協働推進課長
	保育課長	鶴瀬西交流センター所長
	健康増進センター所長	税務課長
	産業振興課長	健康増進センター所長
	下水道課長	環境課長
	水子貝塚資料館館長	まちづくり推進課長
	学校教育課長	下水道課長
	保育課主事(応募職員)	教育政策課長
	—	学校教育課長
	—	水子貝塚資料館長
—	保育課主事(応募職員)	

・市制施行50周年記念事業推進委員会委員一覧(令和4年度・令和5年度)

役職	令和4年度	令和5年度
委員長	政策財務部長	政策財務部長
副委員長	秘書広報課長	市民部副部長兼市民課長
委員	営繕課長	シティプロモーション課長
	シティプロモーション課長	協働推進課長
	協働推進課長	健康増進センター所長
	健康増進センター所長	環境課長
	環境課長	農業振興課長
	農業振興課長	教育政策課長
	都市計画課長	水谷公民館長
	まちづくり推進課長	水子貝塚資料館長
	教育政策課長	総務課主事(応募職員)
	学校教育課長	—
	水子貝塚資料館長	—
	総務課主事(応募職員)	—

④検討経過

市制施行50周年記念事業推進本部会議の開催状況		
開催日程	回数	主な審議内容
令和2年		
8月31日	第1回	基本方針及びスケジュールの確認等
11月10日	第2回	ロゴマークの作製及びステークホルダーミーティング開催の報告等
11月25日	第3回	令和3年度に予算措置が必要な事業の審議等
12月14日	第4回	令和3年度に予算措置が必要な事業の審議等
令和3年		
2月9日	第5回	令和4年度に予算措置が必要な事業の審議等
2月12日	第6回	令和4年度に予算措置が必要な事業の審議等
3月25日	第7回	令和4年度に予算措置が必要な事業の審議等
3月26日	第8回	第7回で議事が終了したため中止
5月31日	第9回	ロゴマークの選定方法及び市民アイデア事業の審議等
6月2日	第10回	第9回で議事が終了したため中止
8月3日	第11回	新規で提案のあった各課提案事業の審議等
10月11日	第12回	保留又は新規で提案のあった各課提案事業の審議等
令和4年		
3月22日	第13回	事業一覧及び事業費が固まったことの報告等
11月21日	第14回	進捗報告（実施済の事業のみ）
令和5年		
5月11日	第15回	進捗報告（前回以降に実施した事業及び未実施の事業のみ）

市制施行50周年記念事業推進委員会の開催状況		
開催日程	回数	主な審議内容
令和2年		
9月2日	第1回	基本方針及びスケジュールの確認等
10月9日	第2回	令和3年度に予算措置が必要な事業の審議等
10月30日	第3回	令和3年度に予算措置が必要な事業の審議等
11月13日	第4回	令和3年度に予算措置が必要な事業の審議等
12月11日	第5回	令和3年度に予算措置が必要な事業の審議等
令和3年		
1月29日	第6回	市民アイデアの集計結果の報告、令和4年度に予算措置が必要な事業の審議等
2月1日	第7回	令和4年度に予算措置が必要な事業の審議等
3月17日	第8回	令和4年度に予算措置が必要な事業の審議等
3月18日	第9回	令和4年度に予算措置が必要な事業の審議等
5月24日	第10回	市民アイデア事業の審議等
5月25日	第11回	ロゴマークの選定方法の審議
7月14日	第12回	新規で提案のあった各課提案事業の審議等
10月5日	第13回	保留又は新規で提案のあった各課提案事業の審議等
令和4年		
2月3日	第14回	事業一覧及び事業費が固まったことの報告等（書面開催）
11月8日	第15回	進捗報告及びレガシー事業の意向確認結果の共有（書面開催）
令和5年		
4月25日	第16回	進捗報告及びレガシー事業検討方法について（書面開催）

編集 富士見市役所 政策財務部政策企画課

〒354-8511

埼玉県富士見市大字鶴馬1800番地の1

電話 049-251-2711(代表)